

令和5年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

(令和4年度実績)

令和5年10月

千歳市教育委員会

目次	
I 千歳市教育振興基本計画の評価	1
II 教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要	1
1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	1
4 学識経験者の知見の活用	3
III 施策項目別点検・評価	5
施策項目の達成度一覧	5
目標指標の状況	7
基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進	41
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実	41
施策項目2 確かな学力の育成	42
施策項目3 特別支援教育の充実	43
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実	44
施策項目5 情報教育の充実	45
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実	46
施策項目7 防災・安全教育の充実	47
基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	48
施策項目8 道徳教育の充実	48
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実	49
施策項目10 ふるさと教育の充実	50
施策項目11 読書活動の推進	51
施策項目12 体力・運動能力の向上	52
施策項目13 食育の推進	53
施策項目14 健康教育の推進	54
基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実	55
施策項目15 学校運営の充実	55
施策項目16 学校施設・設備の充実	56
施策項目17 学びのセーフティネットの構築	57
施策項目18 教員の研修の推進	58
施策項目19 家庭教育支援の充実	59
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実	60
施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実	61
基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	62
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実	62
施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実	63
施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進	64
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	65
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実	66
基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	67
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	67
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実	68
施策項目29 青少年非行防止への取組の推進	69
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	70
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	71
施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実	72
基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	73
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備	73
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実	74
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援	75
施策項目36 文化財の活用の推進	76
施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組	77
基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	78
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進	78
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実	79
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成	80
施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上	81
資料	83
1 教育委員会会議の開催概要	83
2 教育行政執行方針	85

I 千歳市教育振興基本計画の評価

千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）は、教育行政の基本的な方向性や具体的な施策を示す、これからの千歳市の教育が目指す姿を示したものです。

本計画に示した各施策の実施状況等を把握し、評価を行うことにより、計画の実行性を高めることを目的として、前年度に実施した「主な取組」や「目標指標」の点検・評価を実施するものです。

II 教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要

1 点検・評価の趣旨

この点検・評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成19年6月改正、平成20年4月1日施行）第26条の規定に基づき、千歳市教育委員会が取り扱う事務について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）」の全41施策項目を対象として、点検・評価を行いました。

3 点検・評価の方法

点検・評価については、施策項目ごとに定めた「主な取組」の実施状況、「目標指標」の達成状況について、点検・評価を行い、それを基に、各施策の「達成度」と今後の方針・課題などについて、整理を行いました。

【各施策項目の具体的な評価方法】

（1）主な取組の評価結果

ア 各学校が実施した取組

学校が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各学

校が評価した結果の平均値を算出（※2）しています。

イ 市が実施した取組

市が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各担当課で評価した結果です。

※1 主な取組の評価基準

評価	評価内容	点数
A	着実に取り組んでいる	3点
B	取り組んでいる	2点
C	あまり取り組んでいない	1点
D	取り組んでいない	0点
—	未実施	2点

※「未実施」は、実施する予定であったが、外的要因のために取組が実施できなかったことから、実施する意思はあったと判断し、B評価と同じ2点としています。

※2 学校及び担当課で評価した結果の平均値算出方法

評価	評価平均点
A	2.5点以上3.0点以下
B	1.5点以上2.5点未満
C	0.5点以上1.5点未満
D	0点以上0.5点未満

(2) 目標指標の達成状況

目標指標の結果については、現状値となる令和元年度の実績値、目標値となる計画最終年度の令和12年度の目標値と、直近2年間の達成状況を記載しています。

(3) 総合評価

ア 達成度

市及び各学校の主な取組の評価結果から算出しています。

※達成度の算出例

主な取組	評価		点数	
授業改善の推進		A		3
個に応じたきめ細かな学習指導		A		3
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	A	B	3	2
ICT機器の整備・活用	A	A	3	3
達成度	A		2.8	

手順1：市及び各学校の評価をそれぞれ、A：3点、B：2点、C：1点、D：0点

手順2：市及び学校の平均点を算出する → $(3 + 3 + 3 + 3 + 2 + 3) \div 6 = 2.83$

手順3：次の表により平均点から達成度を判定する → $2.8 = A$

達成度	平均点
A	2.5点以上3.0点以下
B	1.5点以上2.5点未満
C	0.5点以上1.5点未満
D	0点以上0.5点未満

※「目標指標の達成状況」については、主な取組を評価する際の参考としており、単年度の達成度判定の算出には直接使用していません。

イ 令和4年度の実績

令和4年度の実績内容を具体的に記載しています。

ウ 施策の今後の方針・課題

各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載しています。

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、令和5年9月に外部評価会議を開催し、教育に関し学識経験を有する2名の委員から、各施策にいただいた意見や助言を記載しています。

意見提出者

外部評価会議委員（学校教育分野） 駒場 義剛（元 千歳小学校長）
（社会教育分野） 高田 知哉（公立千歳科学技術大学教授）

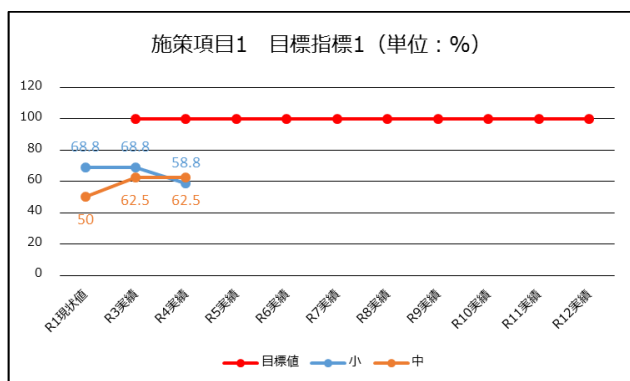
Ⅲ 施策項目別点検・評価
 施策項目の達成度一覧

施策項目		令和4年度評価
施策項目1	認め合い、高め合う学年・学級経営の充実	A (3.0)
施策項目2	確かな学力の育成	A (2.8)
施策項目3	特別支援教育の充実	A (3.0)
施策項目4	外国語教育・国際理解教育の充実	A (2.7)
施策項目5	情報教育の充実	A (3.0)
施策項目6	キャリア教育・体験的な活動の充実	A (2.7)
施策項目7	防災・安全教育の充実	A (3.0)
施策項目8	道徳教育の充実	A (3.0)
施策項目9	いじめ・不登校に対する取組の充実	A (3.0)
施策項目10	ふるさと教育の充実	A (2.6)
施策項目11	読書活動の推進	A (2.5)
施策項目12	体力・運動能力の向上	A (3.0)
施策項目13	食育の推進	A (2.7)
施策項目14	健康教育の推進	A (2.6)
施策項目15	学校運営の充実	A (2.7)
施策項目16	学校施設・設備の充実	A (2.8)
施策項目17	学びのセーフティネットの構築	A (3.0)
施策項目18	教員の研修の推進	A (3.0)
施策項目19	家庭教育支援の充実	A (2.7)
施策項目20	学校と地域の連携・協働の充実	A (3.0)
施策項目21	学校段階等間の連携・交流の充実	A (2.5)
施策項目22	多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実	B (2.0)
施策項目23	学習情報と市民活動交流センター機能の充実	B (2.0)
施策項目24	学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進	B (2.0)
施策項目25	地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	A (2.5)
施策項目26	学んだ成果を地域で生かす活動の充実	B (2.0)
施策項目27	乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	B (2.0)
施策項目28	青少年の自立と成長を育む学びの充実	B (2.0)
施策項目29	青少年非行防止への取組の推進	A (3.0)
施策項目30	成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	B (2.0)
施策項目31	ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	B (2.0)
施策項目32	社会教育施設機能と読書環境の充実	B (2.0)
施策項目33	文化芸術に親しむ環境の整備	B (2.0)
施策項目34	地域に根差した文化芸術活動への支援充実	B (2.0)
施策項目35	文化財の保存と調査・研究及び継承の支援	A (3.0)
施策項目36	文化財の活用の推進	A (2.8)
施策項目37	世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進	A (3.0)
施策項目38	スポーツ活動の啓発と参加促進	A (2.5)
施策項目39	スポーツに親しめる機会の充実	A (2.5)
施策項目40	スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成	A (2.5)
施策項目41	スポーツ施設の機能充実と利便性向上	B (2.0)

目標指標の状況

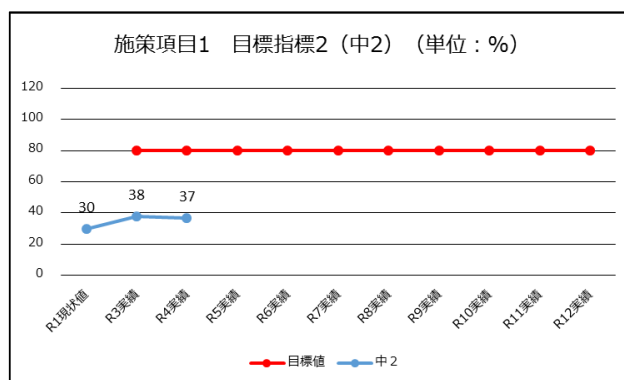
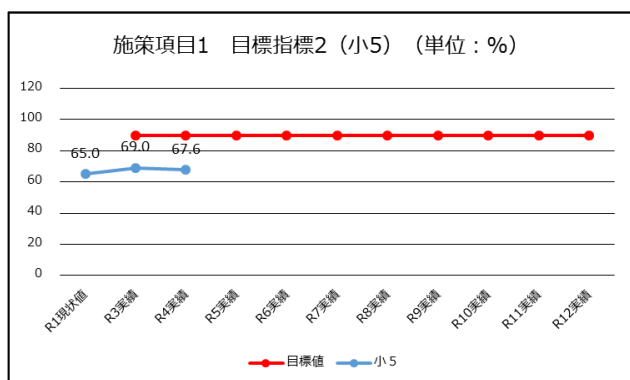
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標1 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合【全国学力】



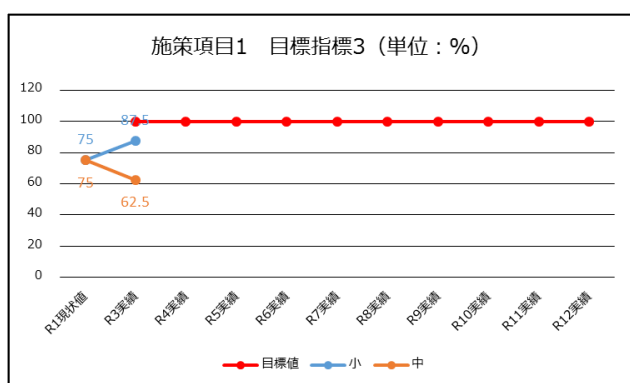
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標2 ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合



施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

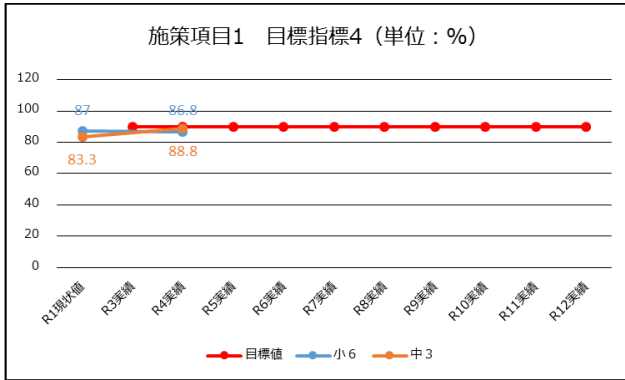
目標指標3 学習規律の維持を徹底している学校の割合【全国学力】



※令和4年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

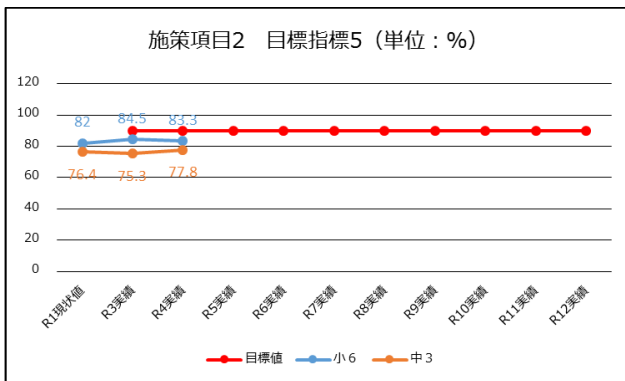
目標指標4 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



※令和3年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

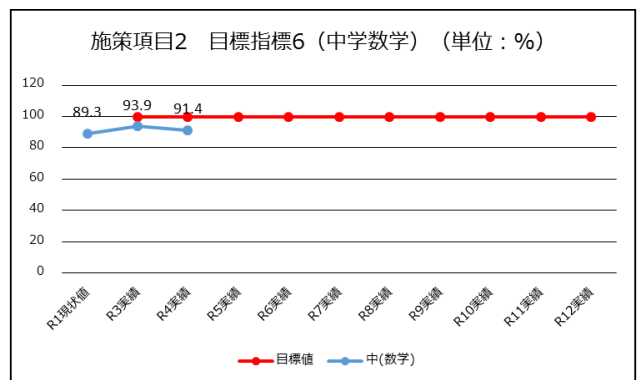
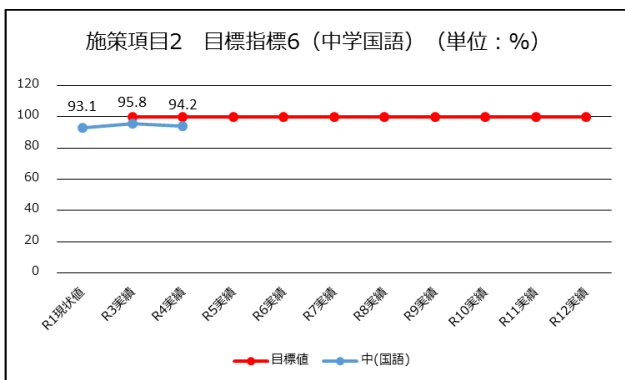
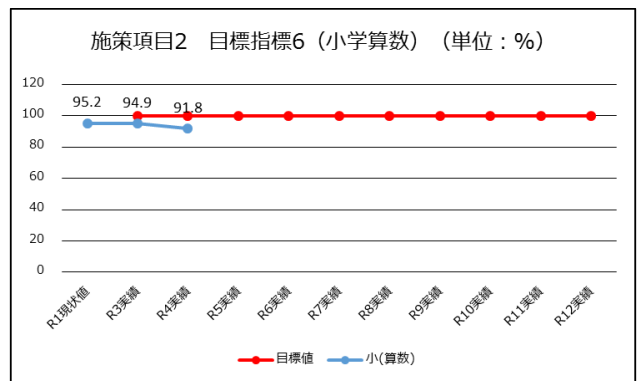
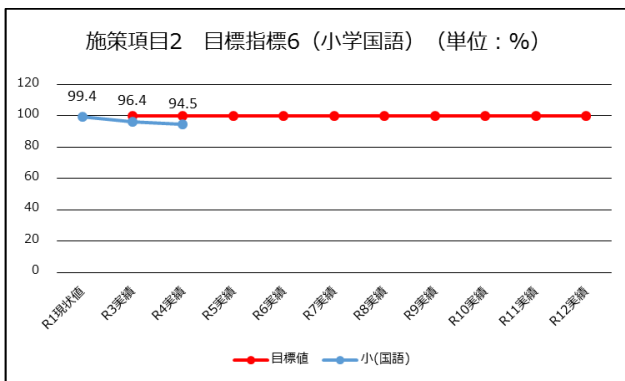
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標5 「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



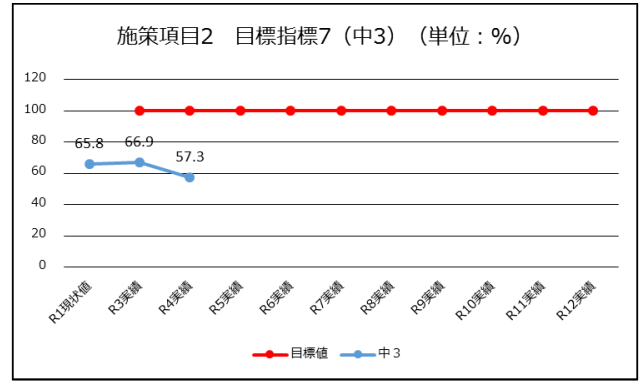
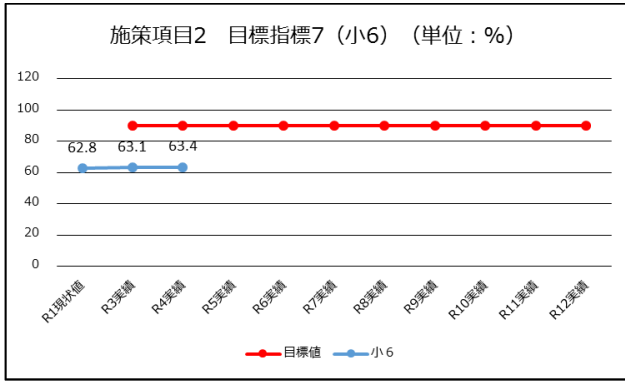
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標6 全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合【全国学力】（※全国平均を100とした場合の千歳市の割合）



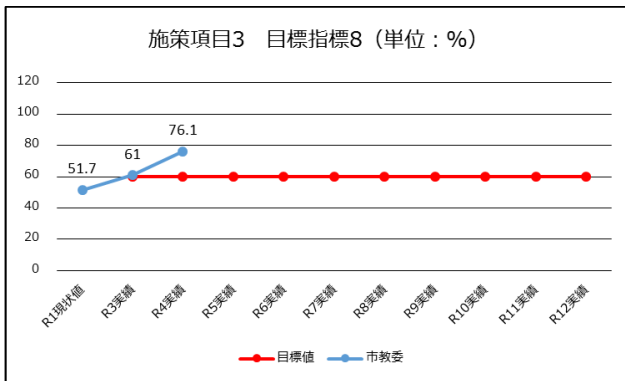
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標7 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



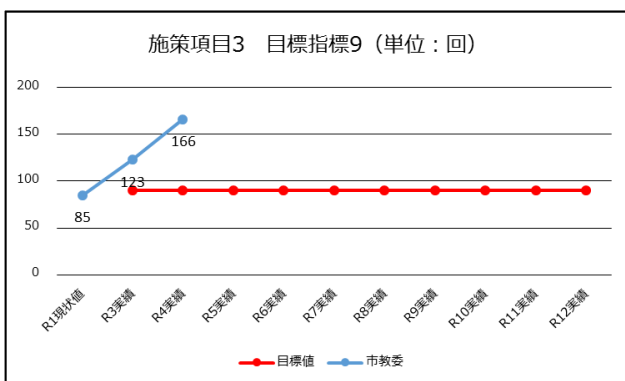
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標8 「個別の教育支援計画」の作成割合



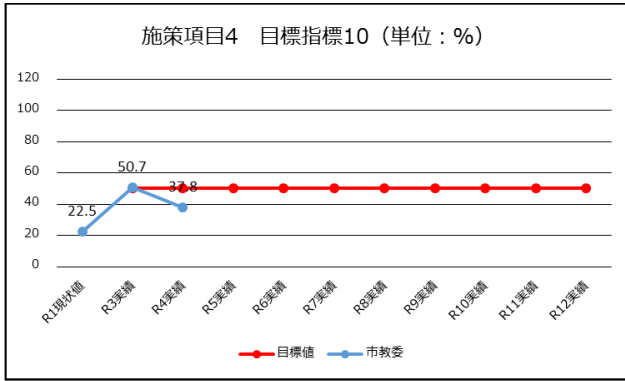
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標9 発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数



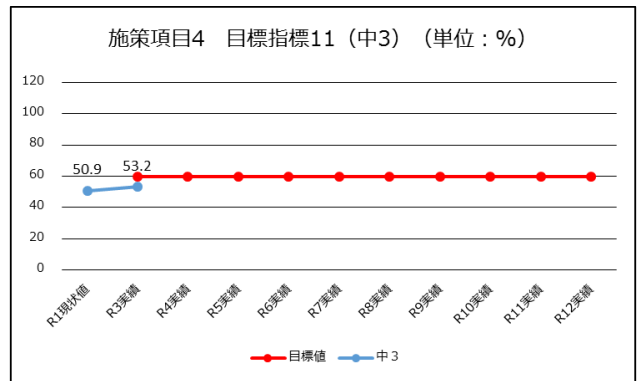
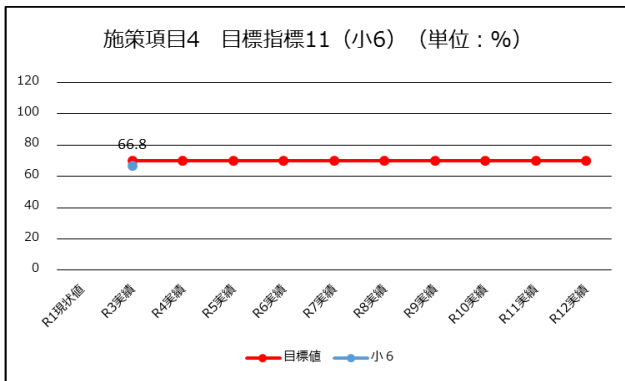
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

目標指標10 英検3級相当以上の英語能力を有する中学校3年生の割合



施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

目標指標11 「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合【全国学力】

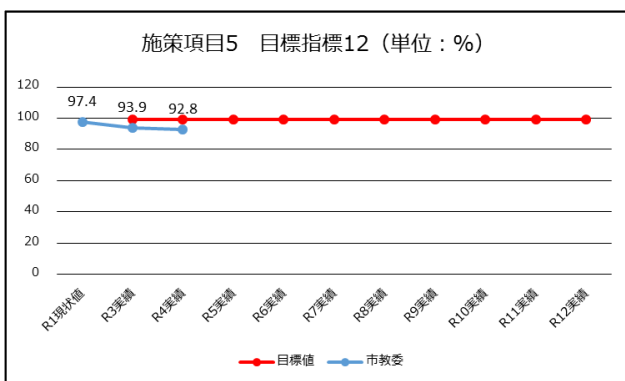


※令和元年度の全国学力・学習状況調査(小6)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

※令和4年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

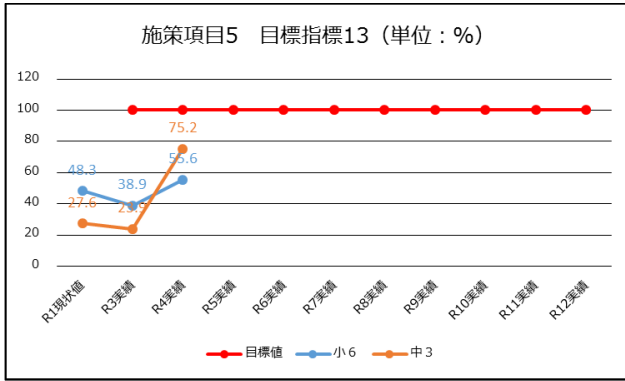
施策項目5 情報教育の充実

目標指標12 ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合



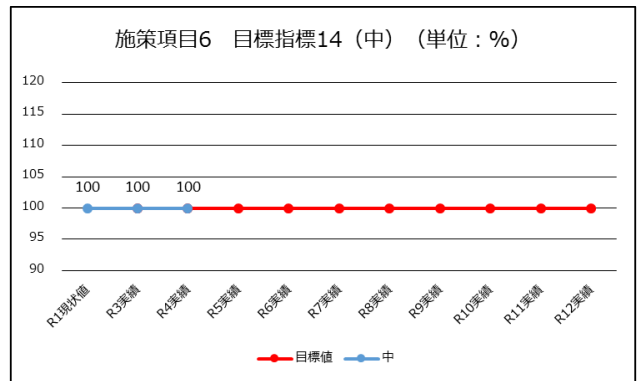
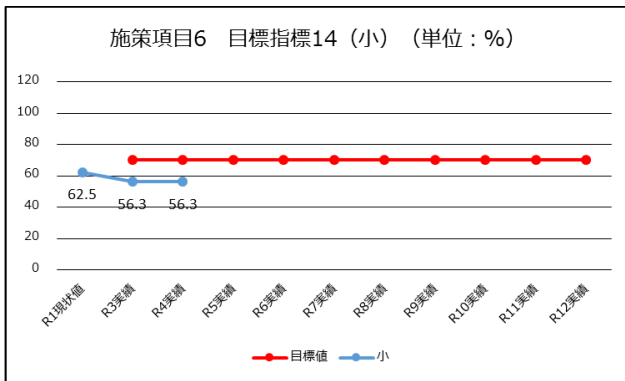
施策項目5 情報教育の充実

目標指標13 「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



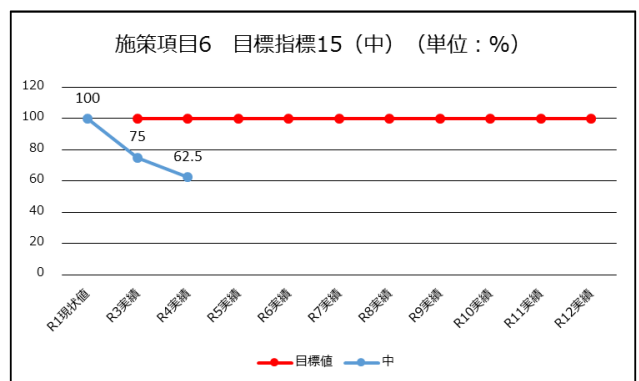
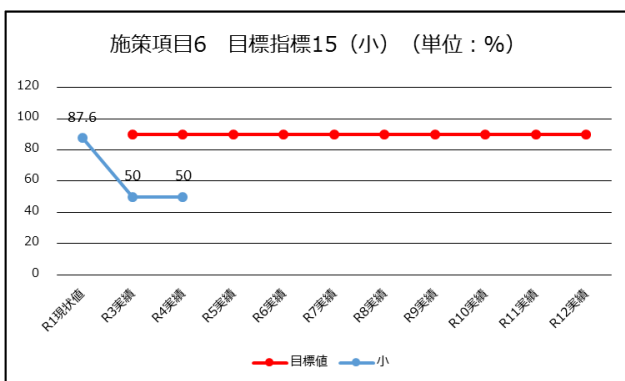
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

目標指標14 職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合【全国学力】



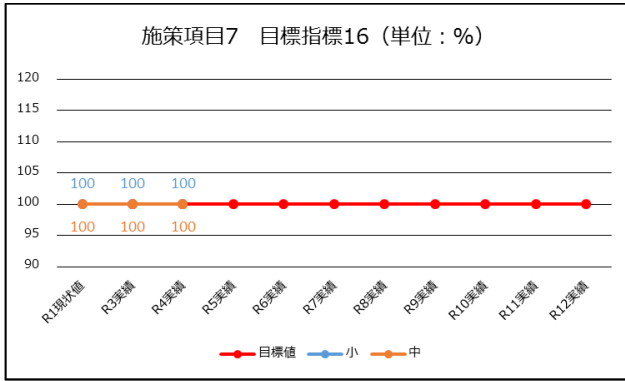
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

目標指標15 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合【全国学力】



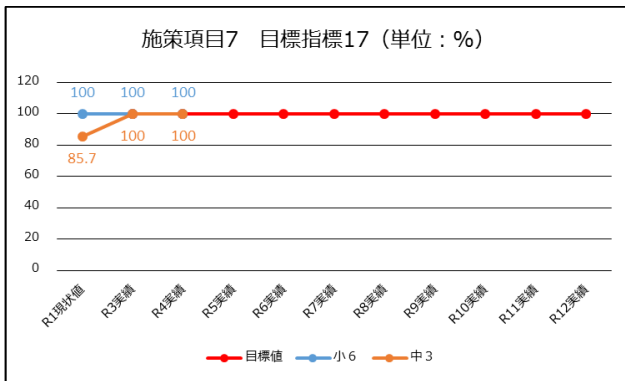
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標16 学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合



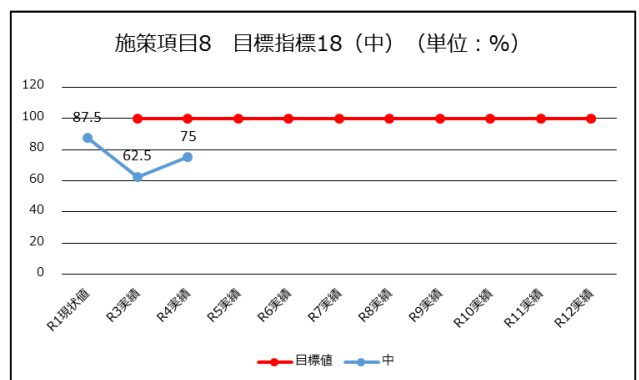
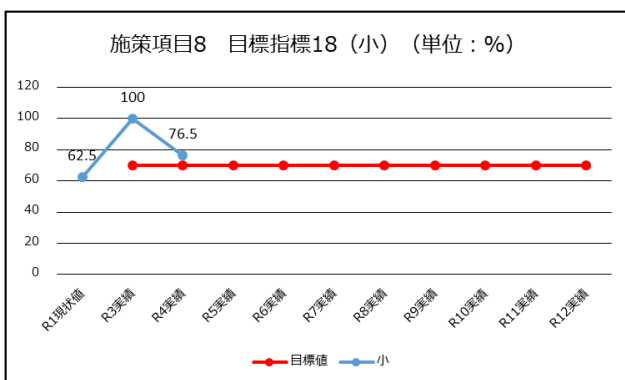
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標17 通学路の安全点検を実施している学校の割合（北進小中、東小、東千歳中を除く）



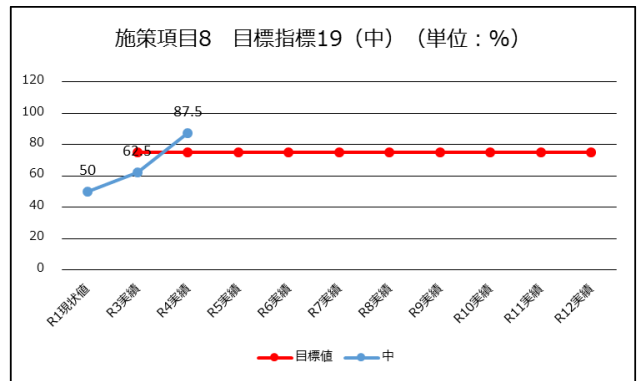
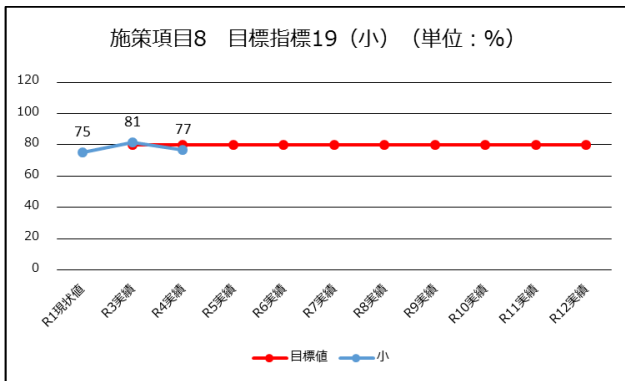
施策項目8 道徳教育の充実

目標指標18 学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合【全国学力】



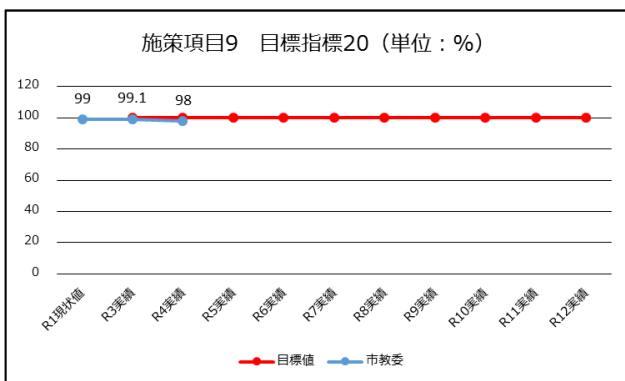
施策項目8 道徳教育の充実

目標指標19 特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合【全国学力】



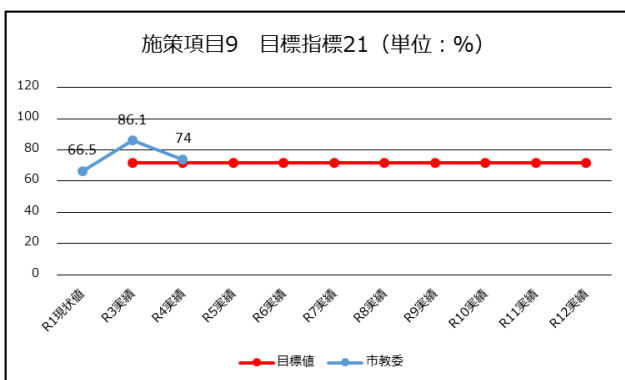
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標20 いじめ解消率



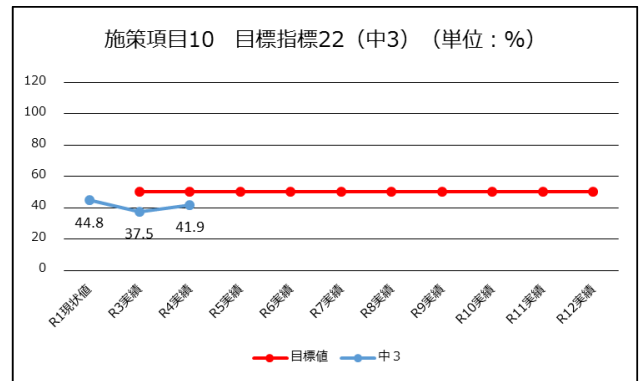
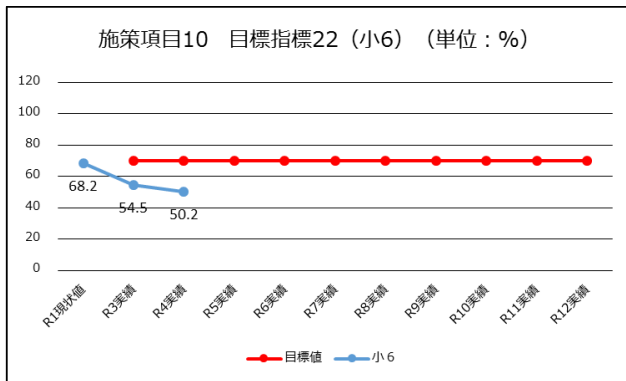
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標21 不登校児童生徒が学校復帰（完全登校及び不定期登校）した割合



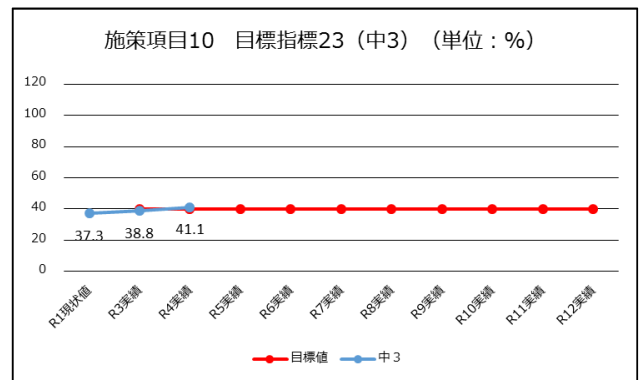
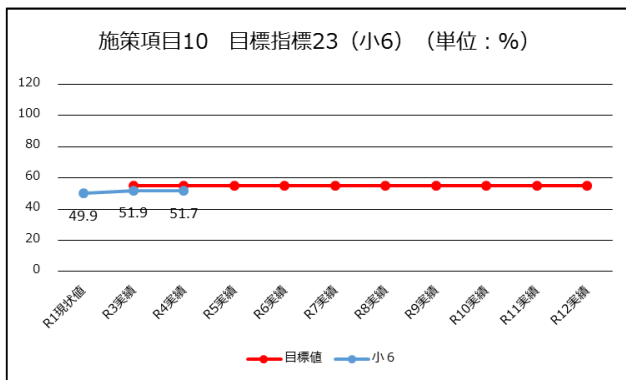
施策項目10 ふるさと教育の充実

目標指標22 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



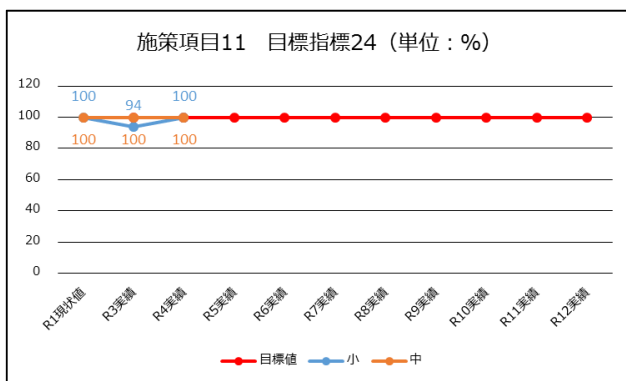
施策項目10 ふるさと教育の充実

目標指標23 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



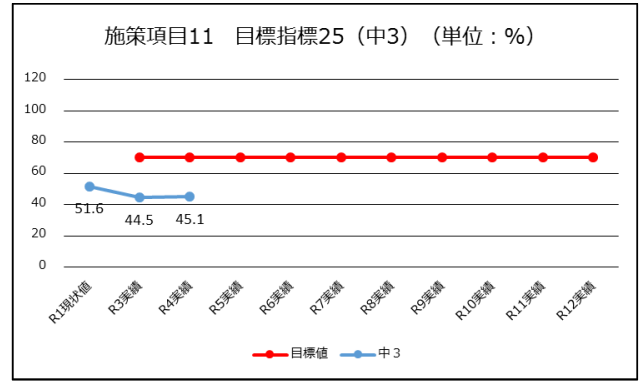
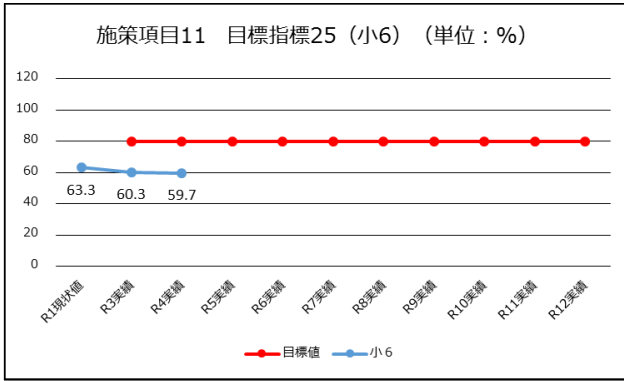
施策項目11 読書活動の推進

目標指標24 「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合



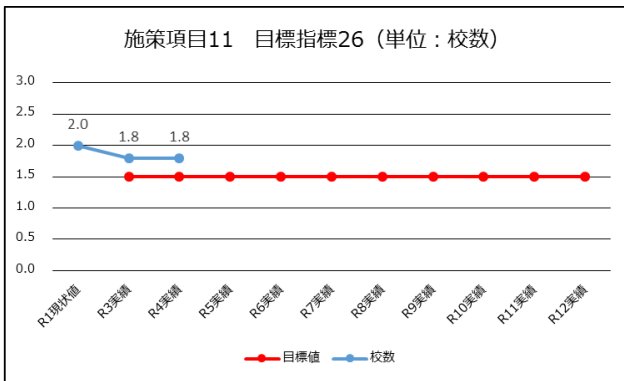
施策項目11 読書活動の推進

目標指標25 「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合



施策項目11 読書活動の推進

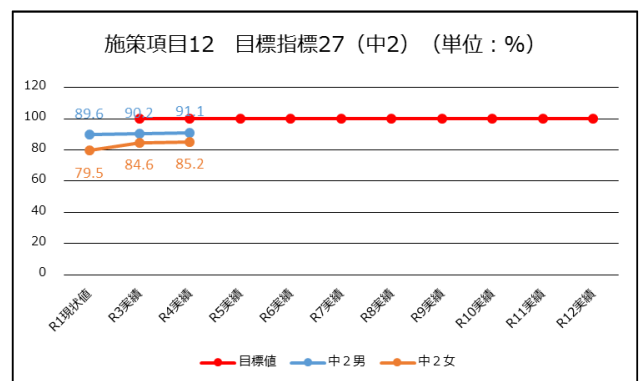
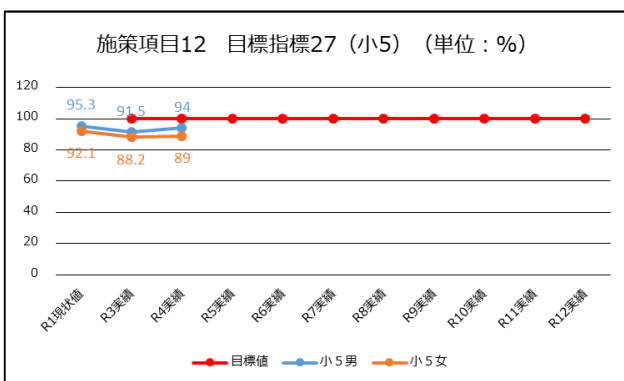
目標指標26 学校図書館司書の配置人数



※令和12年度までに、1.5校を下回ることが目標

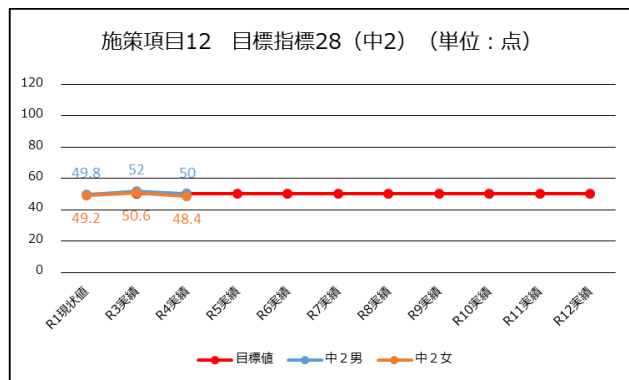
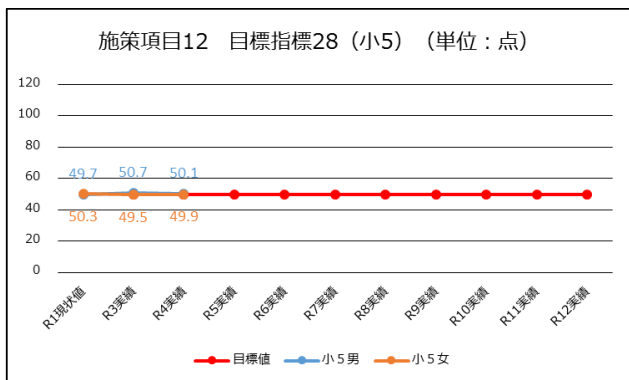
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標27 「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



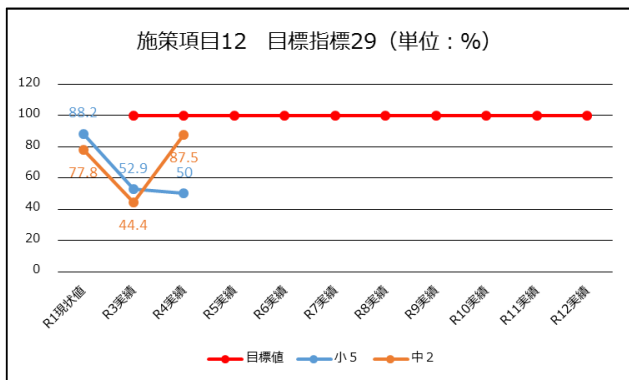
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標28 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点【全国体力】



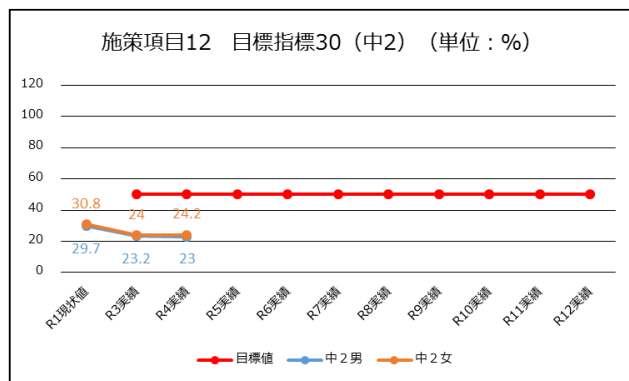
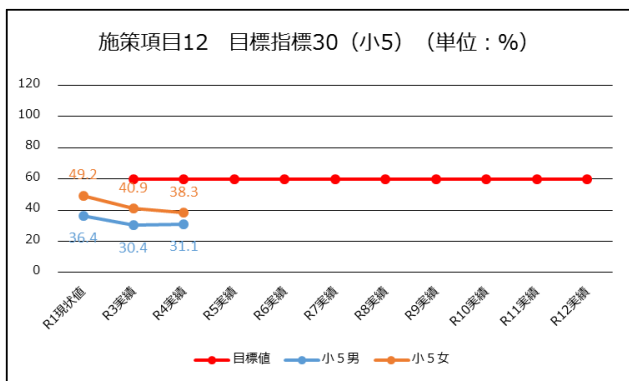
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標29 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合【全国体力】



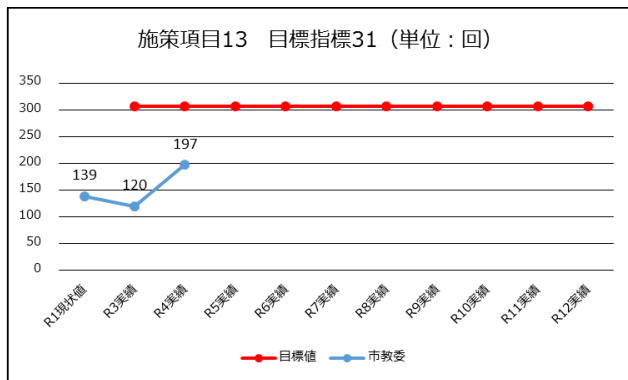
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標30 「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



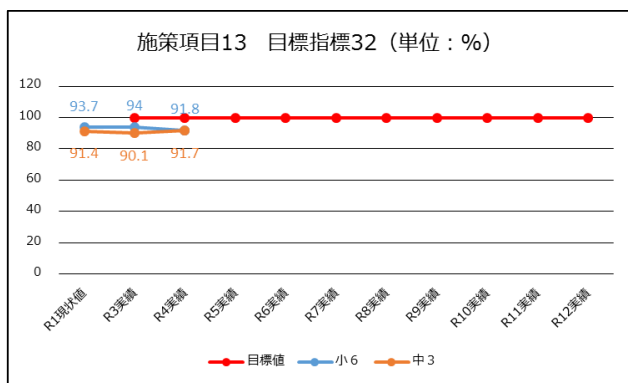
施策項目13 食育の推進

目標指標31 食に関する指導の実施回数



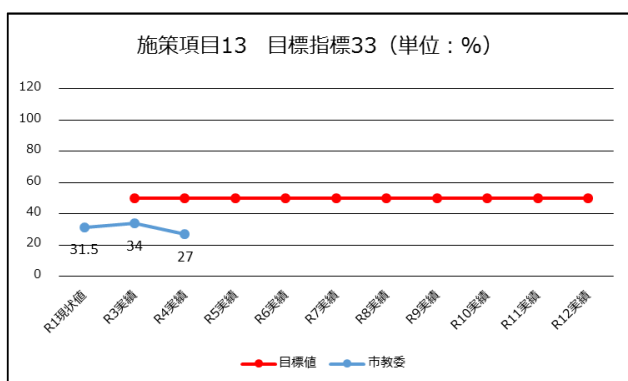
施策項目13 食育の推進

目標指標32 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



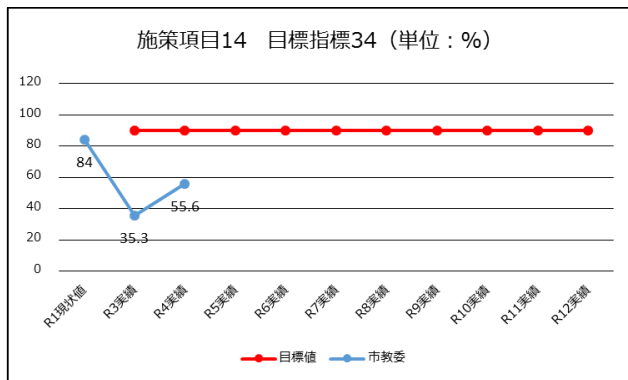
施策項目13 食育の推進

目標指標33 学校給食使用食材（野菜類）における地場産品利用割合



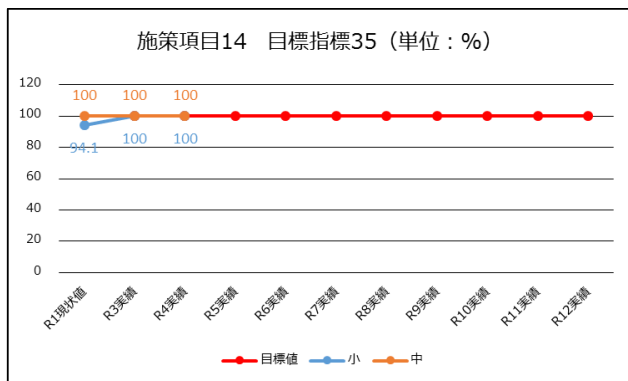
施策項目14 健康教育の推進

目標指標34 フッ化物洗口を実施している児童の割合



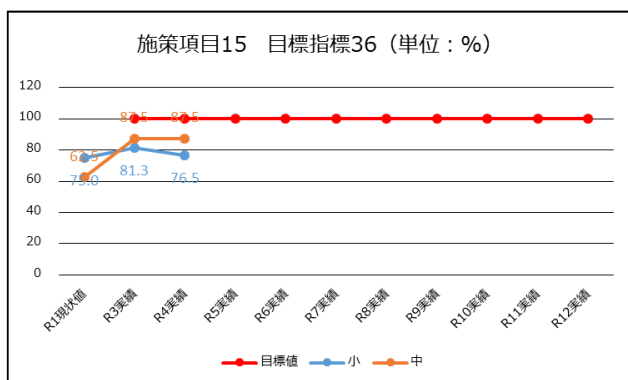
施策項目14 健康教育の推進

目標指標35 学校保健委員会を設置している学校の割合



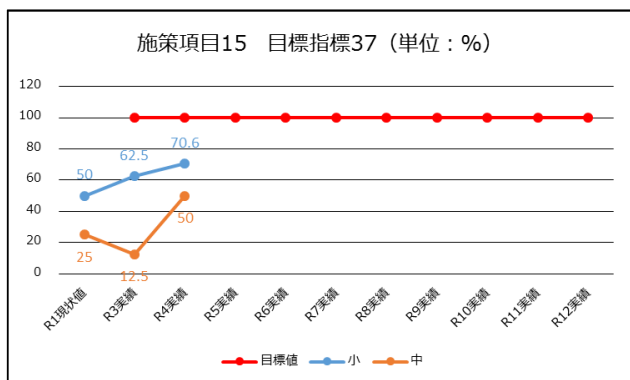
施策項目15 学校運営の充実

目標指標36 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを悪率している学校の割合【全国学力】



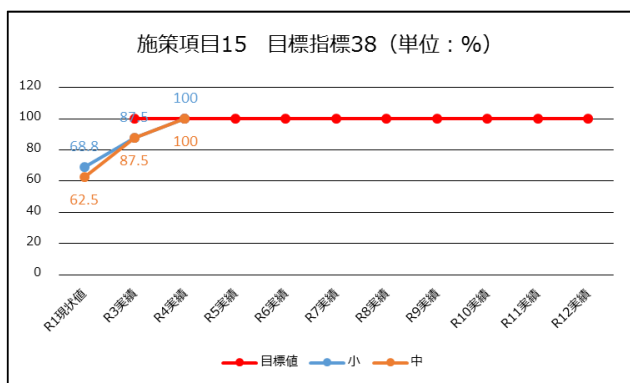
施策項目15 学校運営の充実

目標指標37 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合【全国学力】



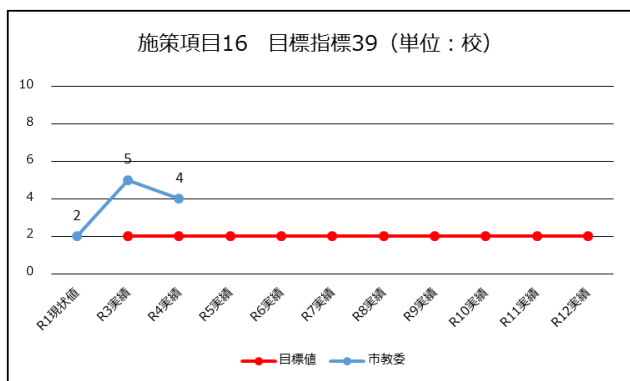
施策項目15 学校運営の充実

目標指標38 業務改善に取り組んでいる学校の割合【全国学力】



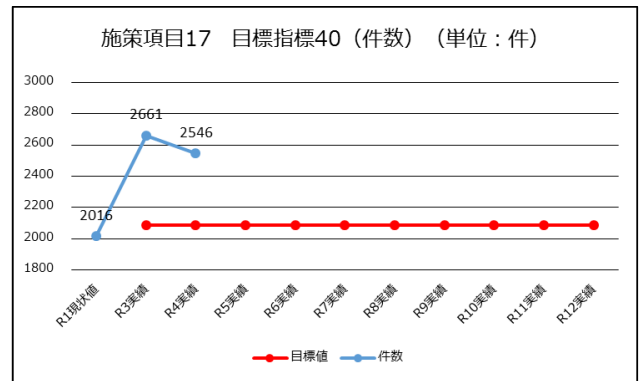
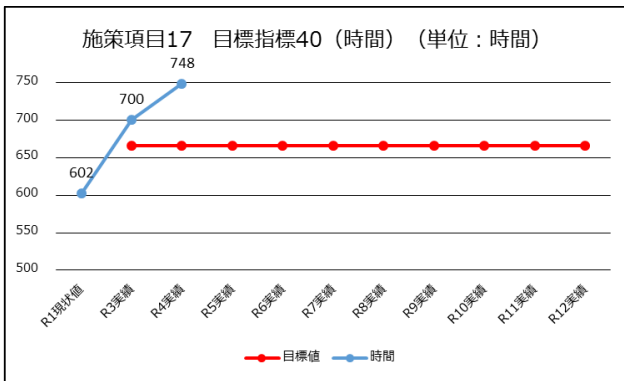
施策項目16 学校施設・設備に充実

目標指標39 大規模改修（1校当たり2,000万円を超える工事）の実施校数（各年度の整備数）



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

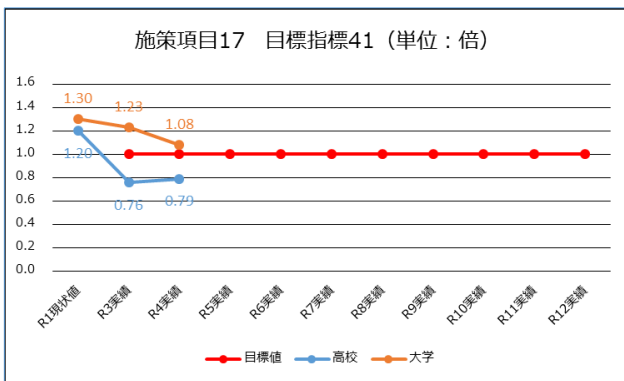
目標指標40 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

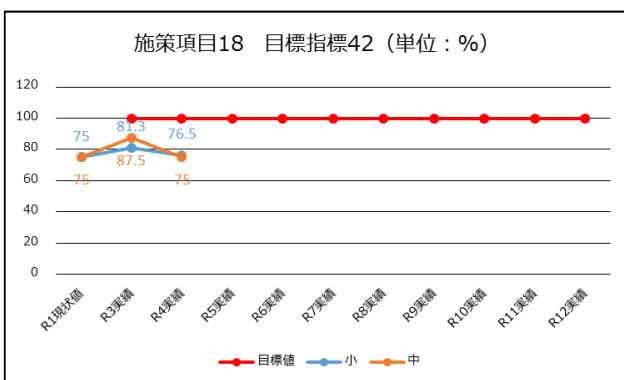
目標指標41 奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合 (高校生・大学生)

※令和12年度までに1.0倍以下になることが目標



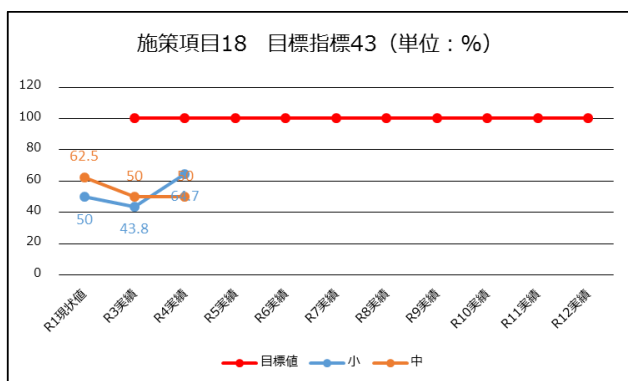
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標42 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合【全国学力】



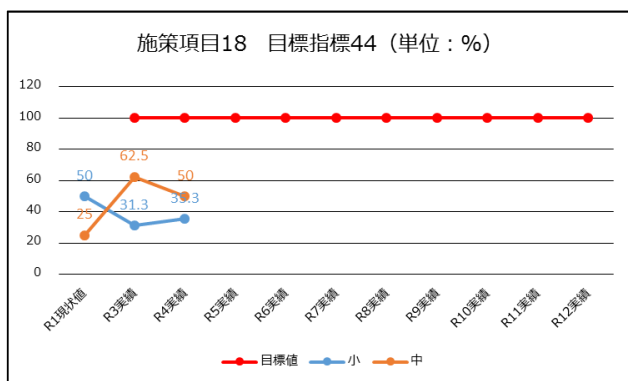
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標43 「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合【全国学力】



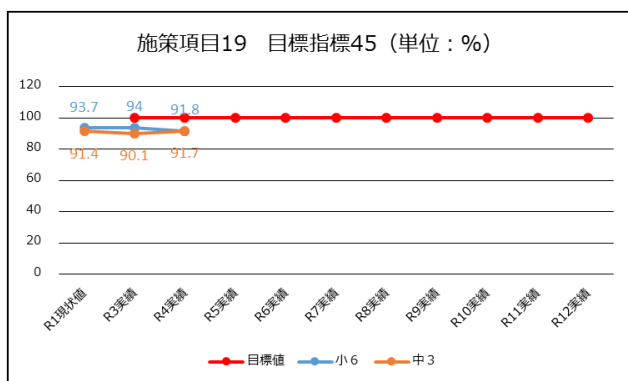
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標44 近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合【全国学力】



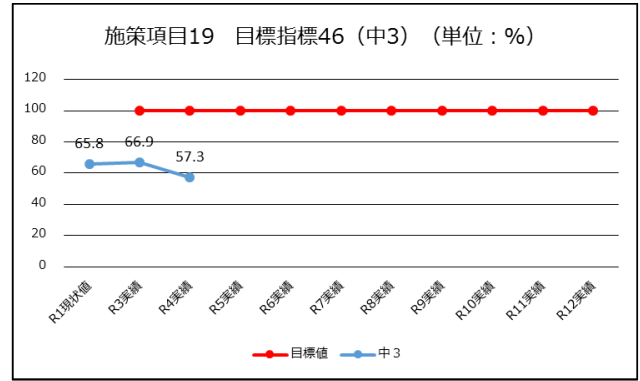
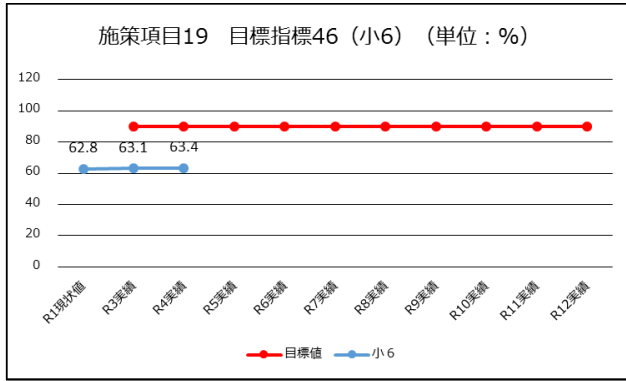
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標45 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合(再掲)【全国学力】



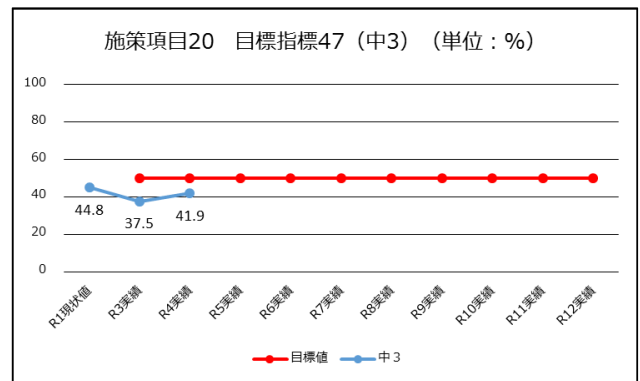
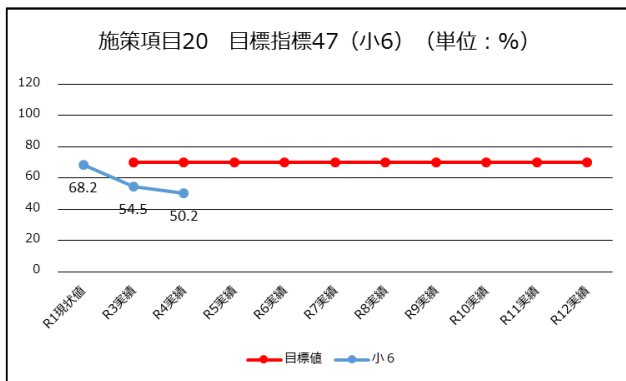
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標46 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



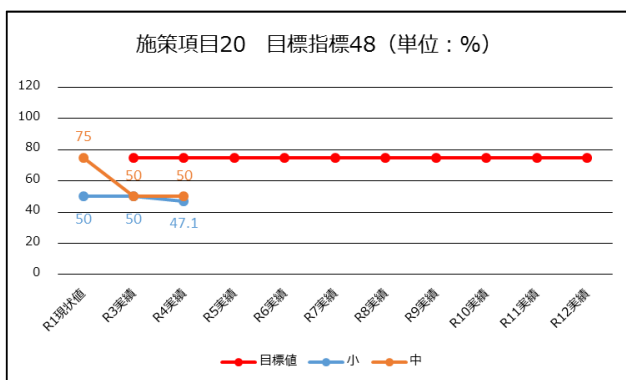
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標47 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



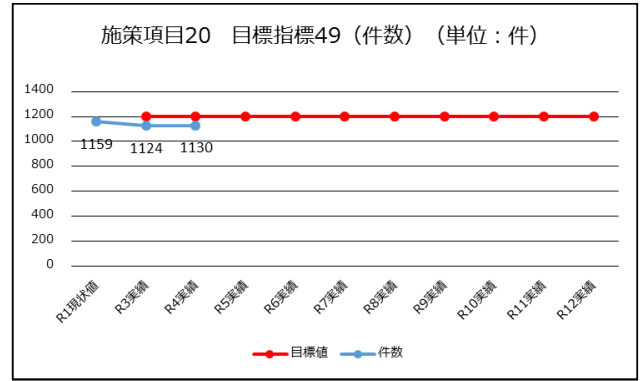
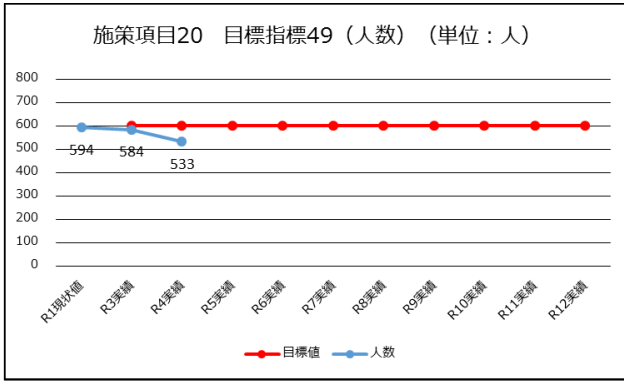
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標48 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合【全国学力】



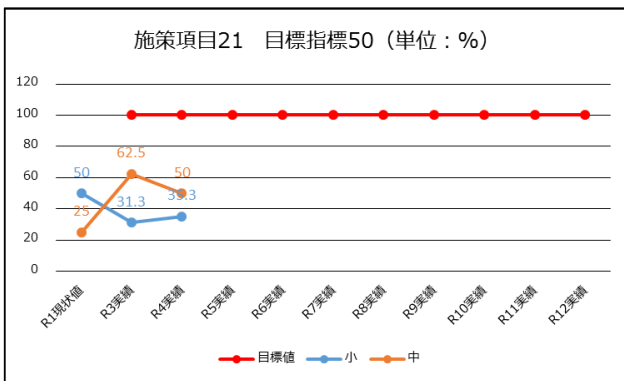
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標49 千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」の登録件数【全国学力】



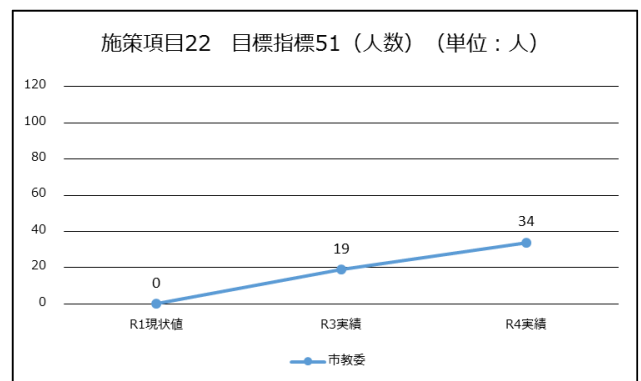
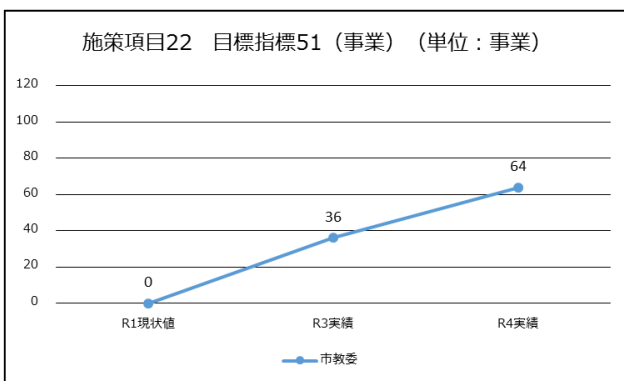
施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実

目標指標50 近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)【全国学力】



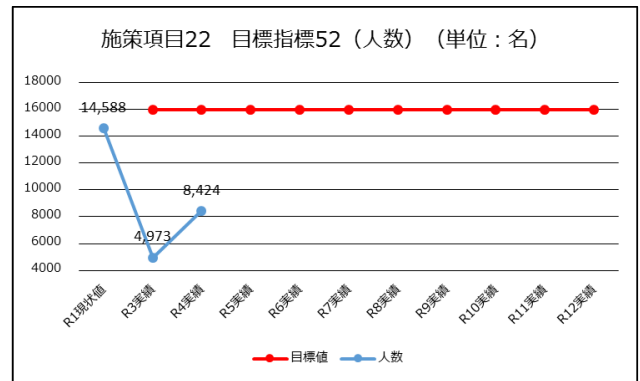
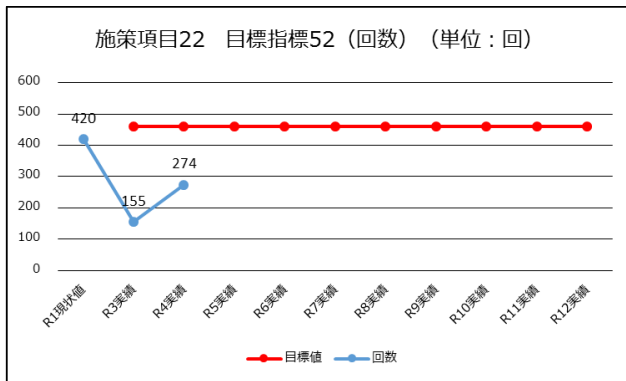
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標51 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数 (※令和12年度まで右上がりです事業数及び登録者数が増え続けることが目標)



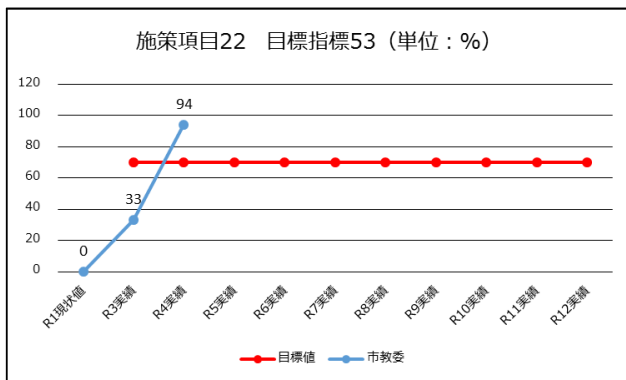
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標52 「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数



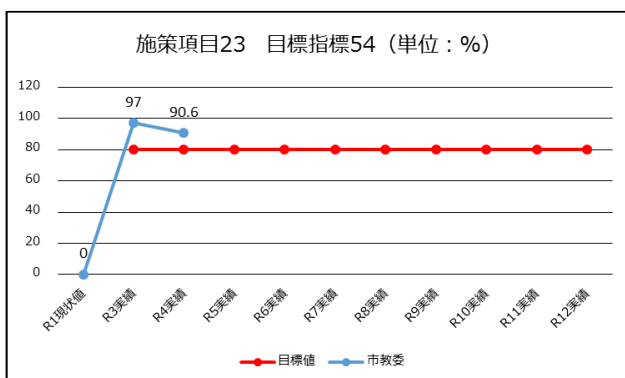
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標53 学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合

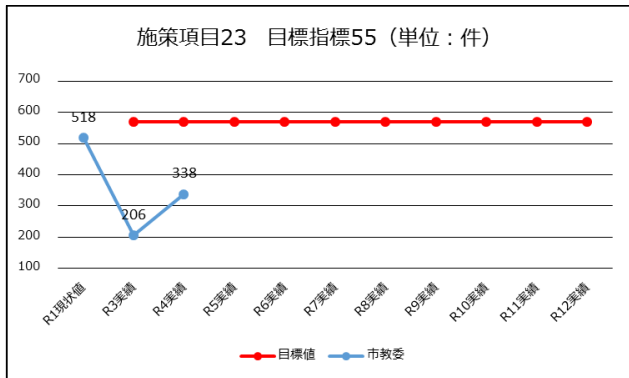


施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実

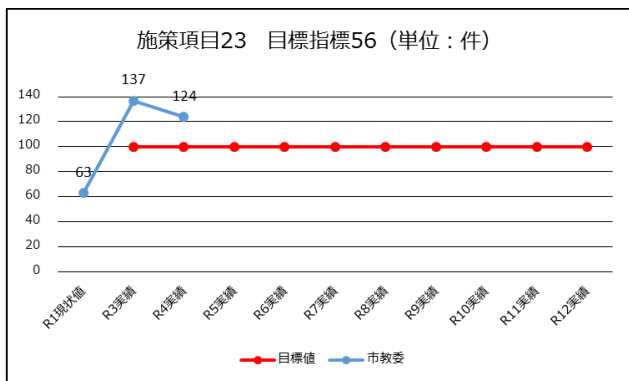
目標指標54 市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合



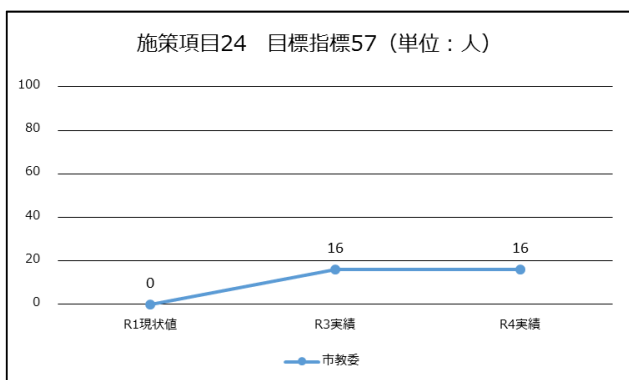
施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
 目標指標55 市民活動交流センターが行った情報提供事業件数



施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
 目標指標56 市民活動交流センターが行った相談対応件数

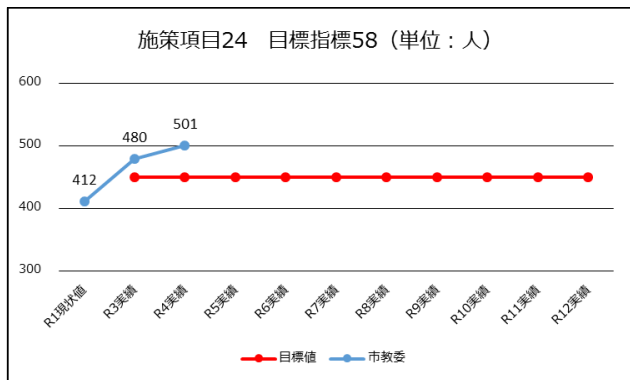


施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
 目標指標57 「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数
 (※令和12年度まで右上がりですべての事業数及び登録者数が増え続けることが目標)



施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

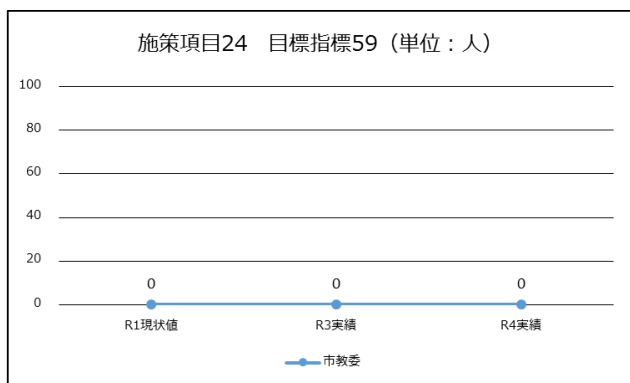
目標指標58 「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数



施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

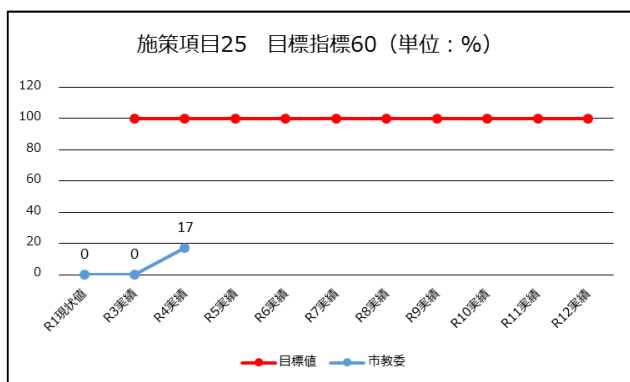
目標指標59 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数

※令和12年度まで右上がりです事業数及び登録者数が増え続けることが目標



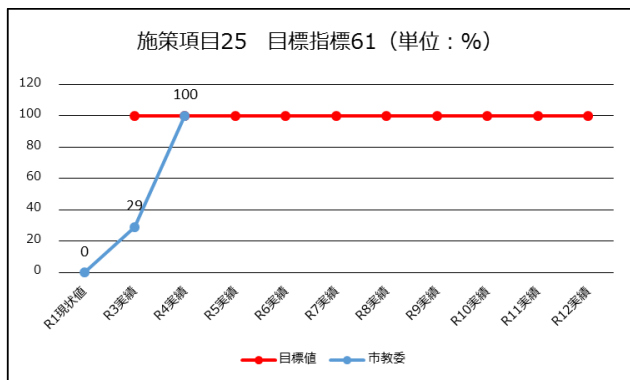
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標60 地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合



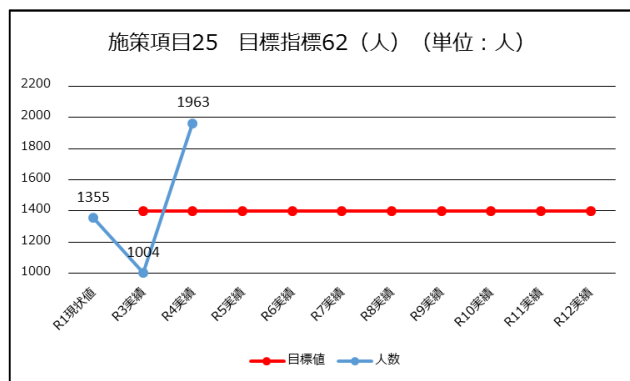
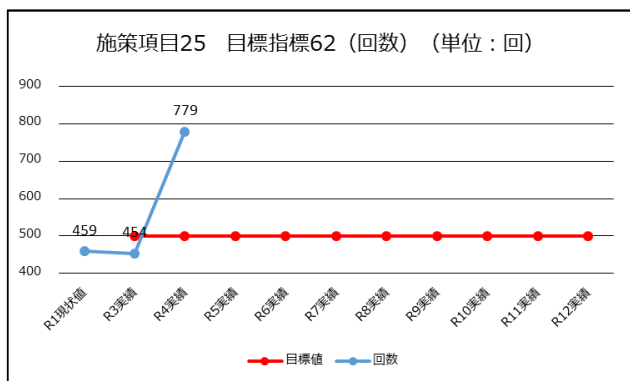
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標61 地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合



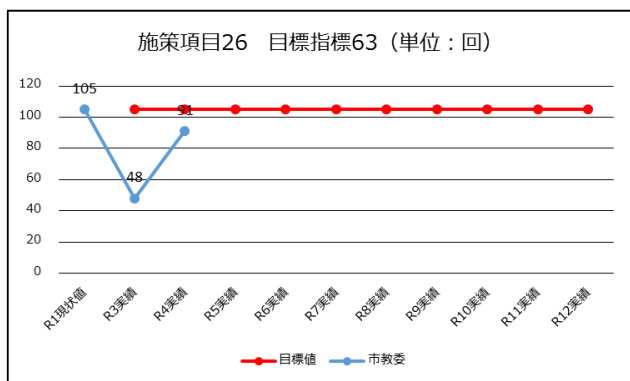
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標62 地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数



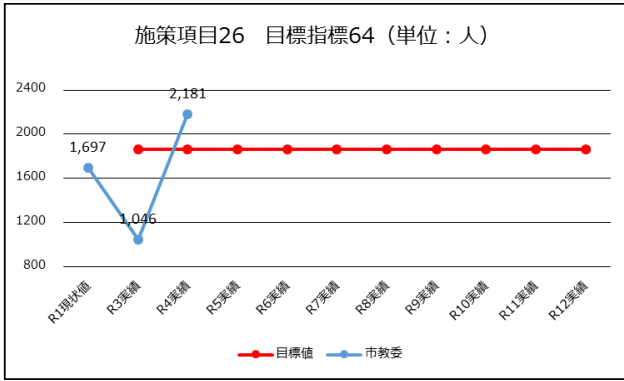
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標63 教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となって行ったものの実施回数



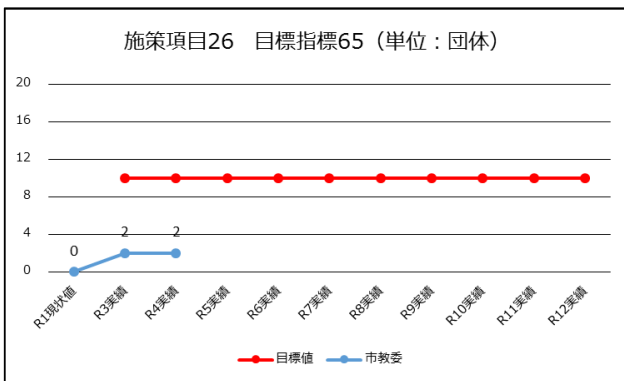
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標64 千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数



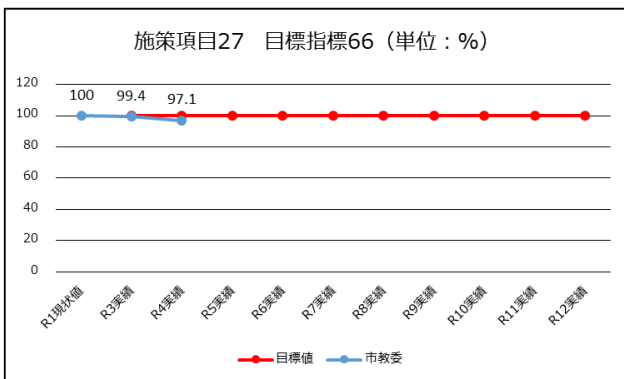
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標65 教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数



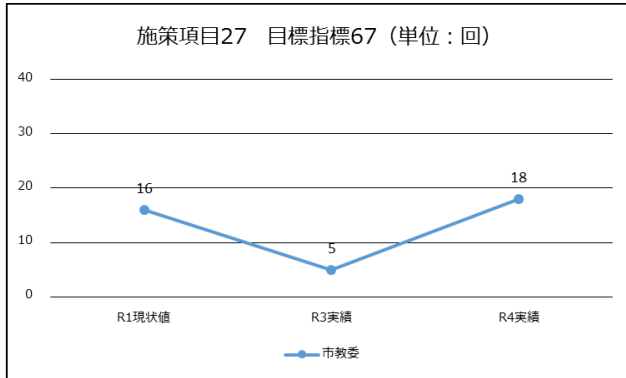
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

目標指標66 教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

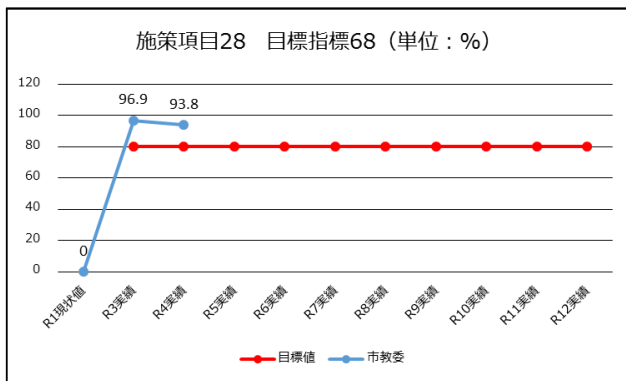
目標指標67 子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数



※令和12年度まで右上がりで事業数及び登録者数が増え続けることが目標

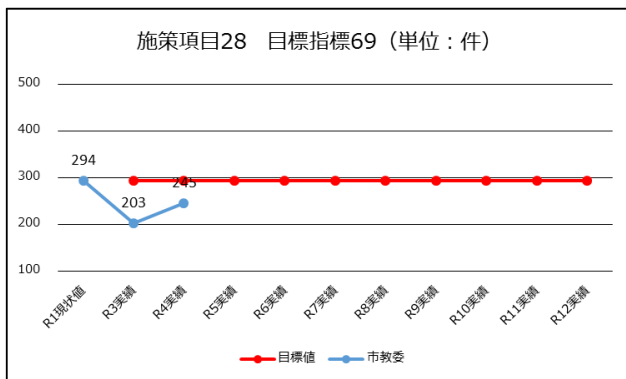
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標68 教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合



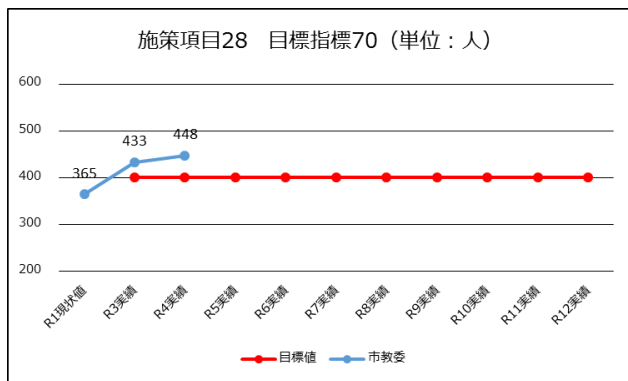
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標69 「マナビィ」や「少年団体一覧表」など、教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数



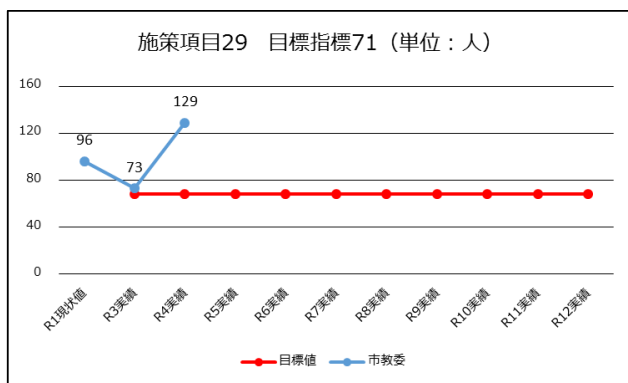
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標70 ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数



施策項目29 青少年非行防止への取組の推進

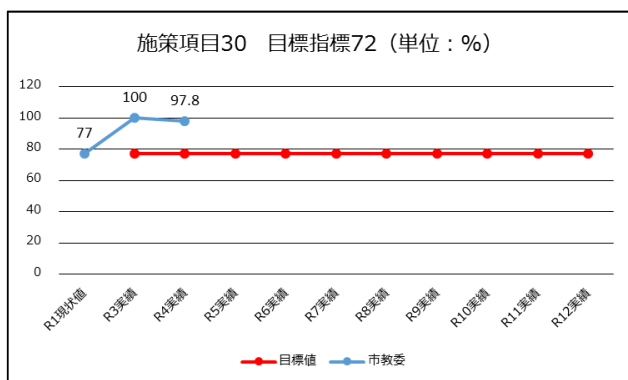
目標指標71 青少年指導件数



※令和12年度までに指導件数が68人以下になることが目標

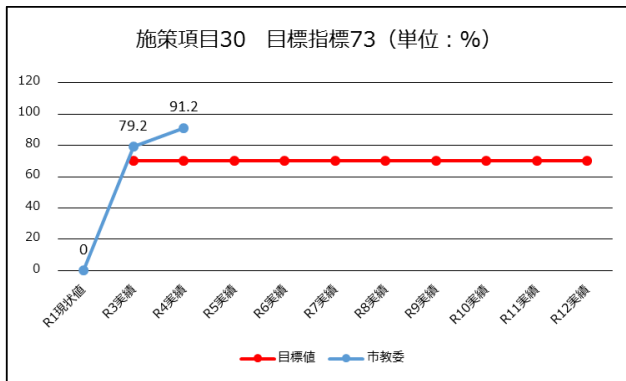
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標72 教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



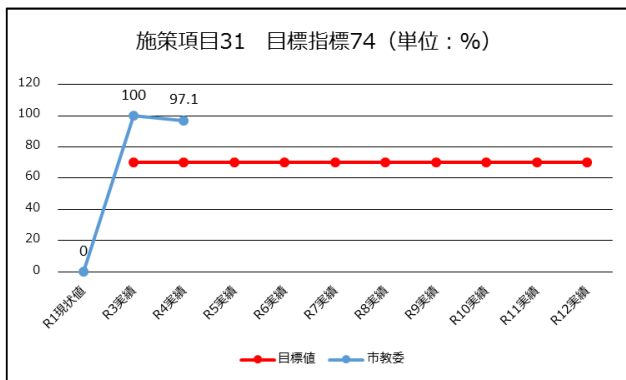
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標73 高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合



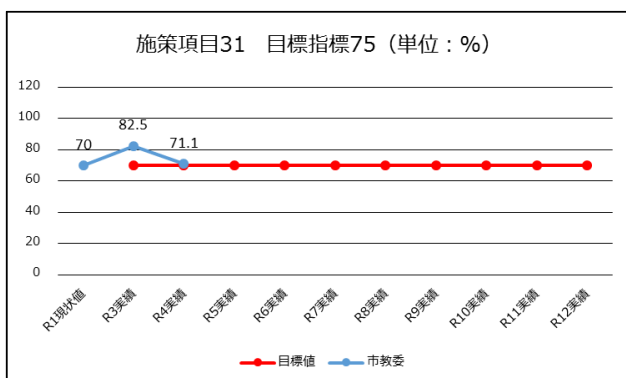
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標74 教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合



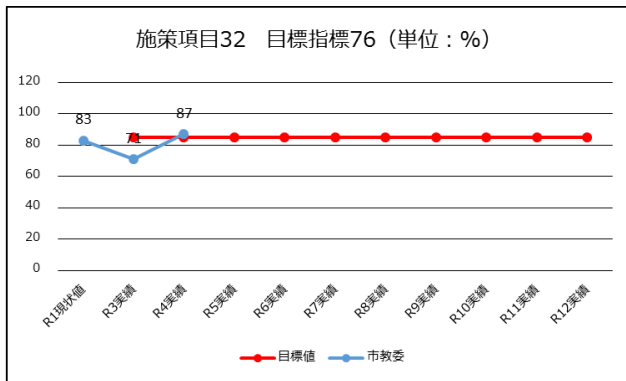
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標75 教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合



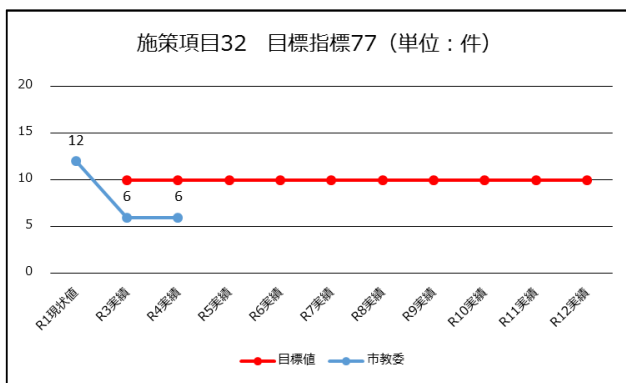
施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

目標指標76 公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

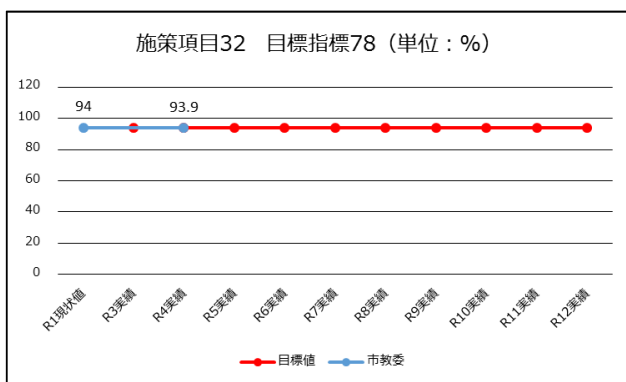
目標指標77 図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件



※令和12年度までに改善意見の件数が10件を下回ることが目標

施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

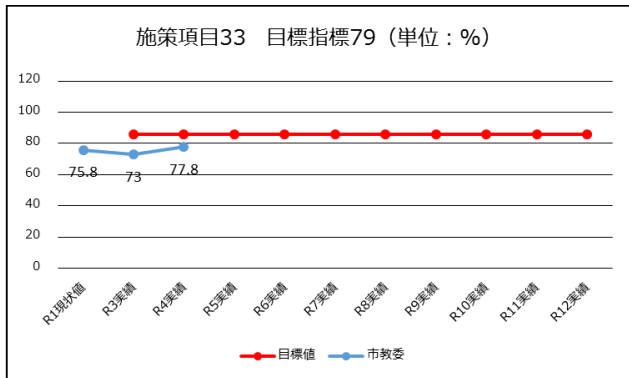
目標指標78 図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館まつりを中止した。

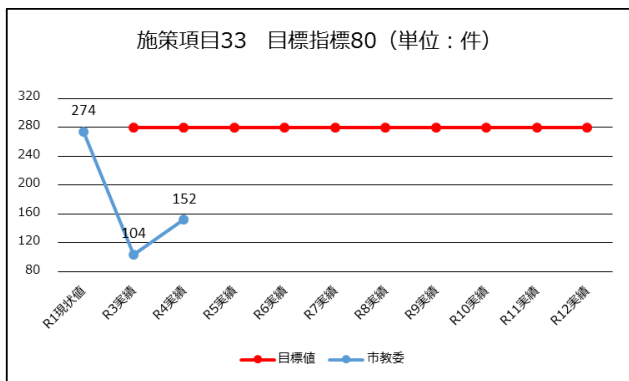
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標79 市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合



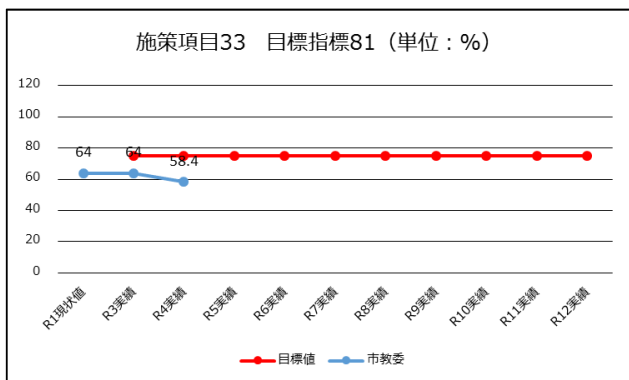
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標80 文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数



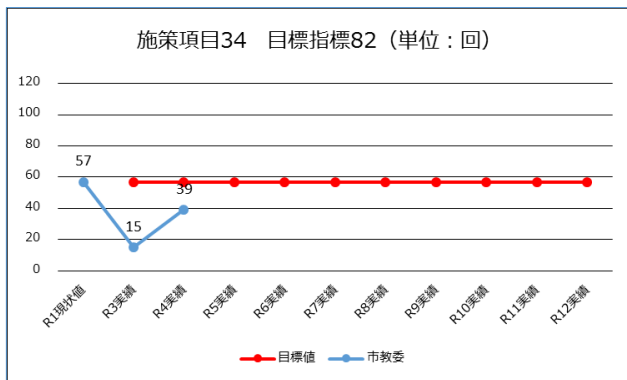
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標81 市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合



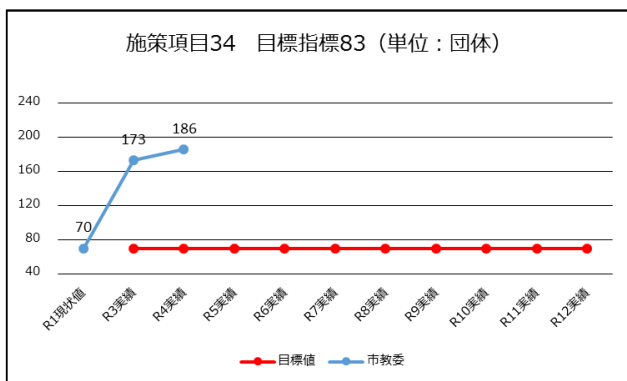
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標82 教育委員会の支援（補助・共催・後援）により実施された文化芸術事業の実施回数



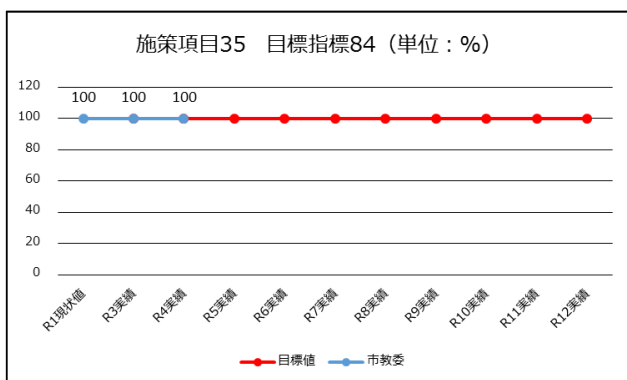
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標83 文化芸術に関わる団体数（社会教育関係団体（文化芸術分野）と文化団体連絡協議会加盟団体の数）



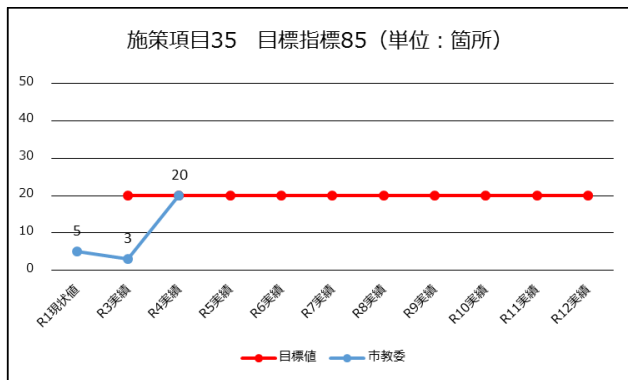
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標84 発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合



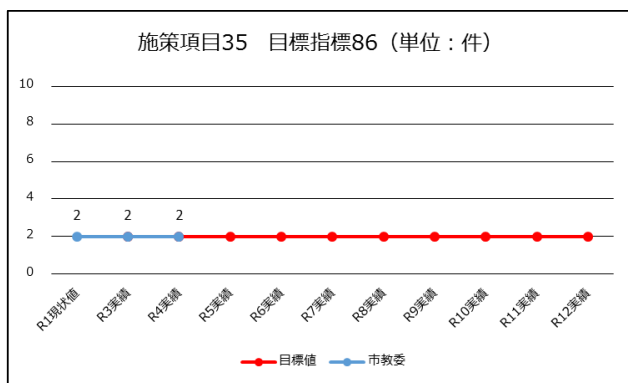
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標85 遺跡パトロールの年間実施箇所数



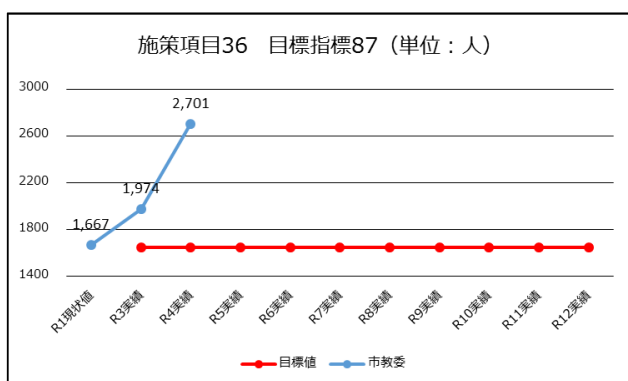
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標86 市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数

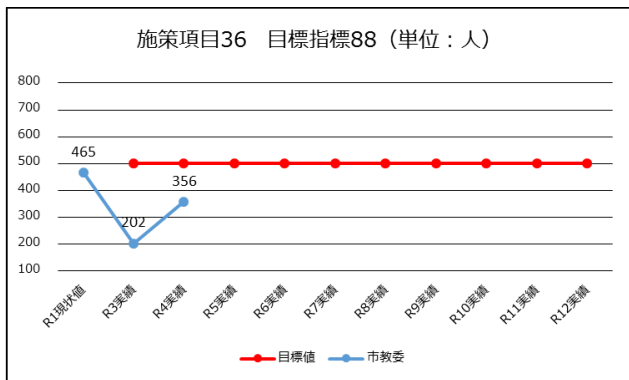


施策項目36 文化財の活用の推進

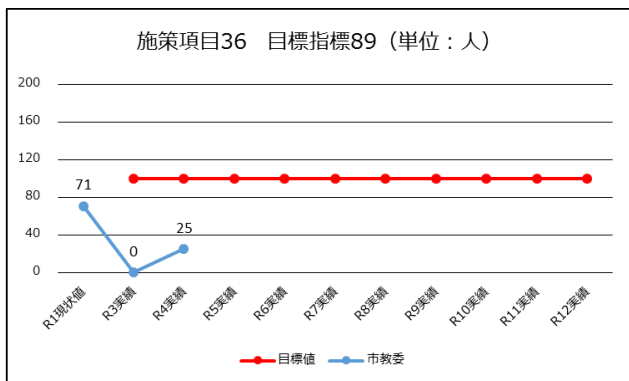
目標指標87 埋蔵文化財センター展示室の見学者数



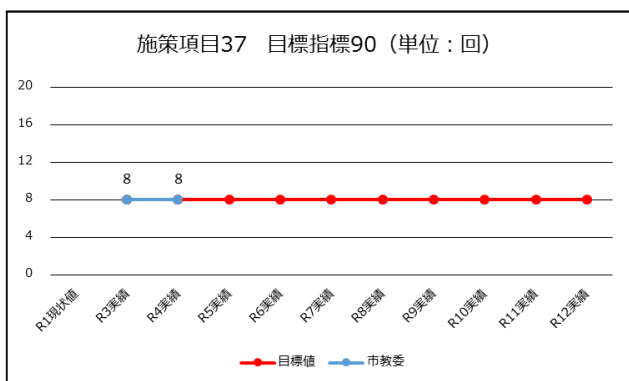
施策項目36 文化財の活用の推進
 目標指標88 体験学習会への参加者数



施策項目36 文化財の活用の推進
 目標指標89 講演会への参加者数

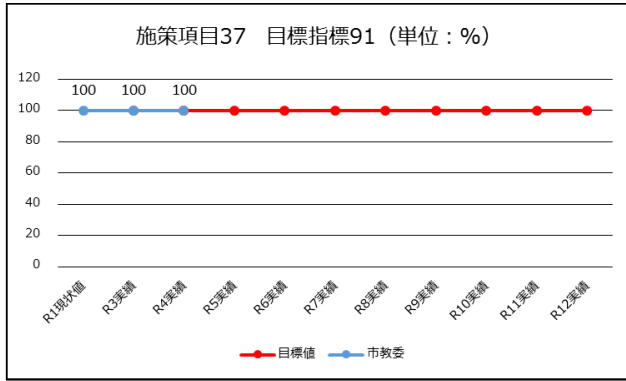


施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進
 目標指標90 資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数



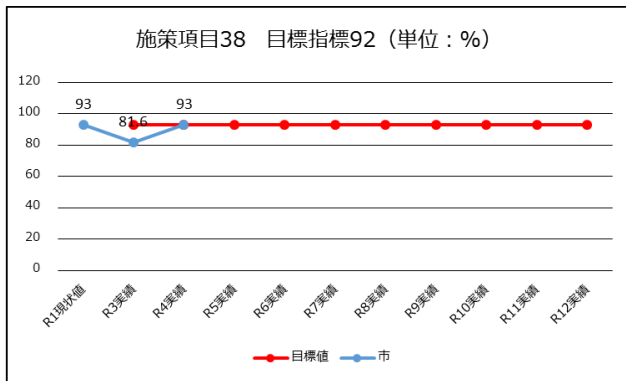
施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進

目標指標91 構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握



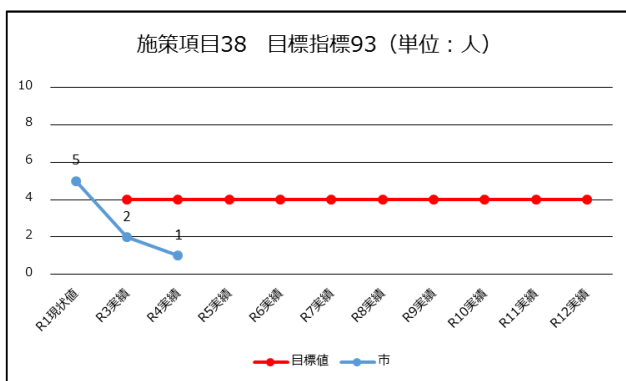
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標92 千歳市及び(公財)千歳市体育協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対するの参加割合



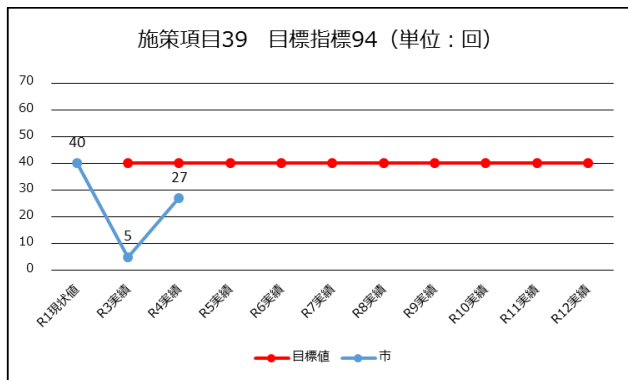
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標93 千歳市スポーツ表彰被表彰者数



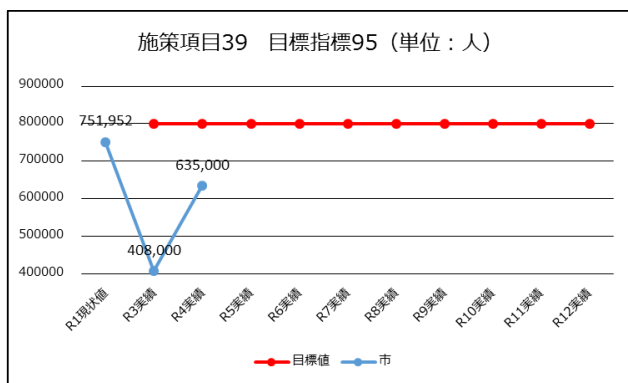
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標94 千歳学出前講座（市役所編スポーツ）の実施回数



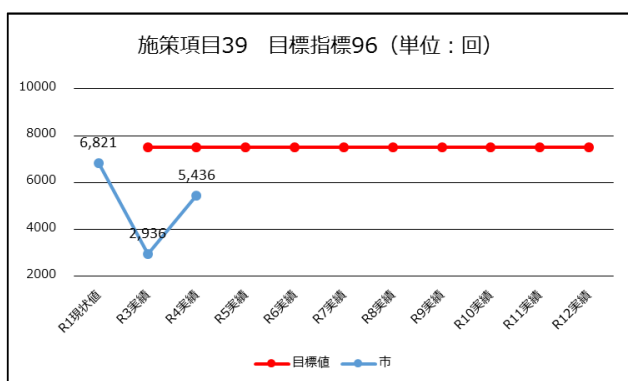
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標95 屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者



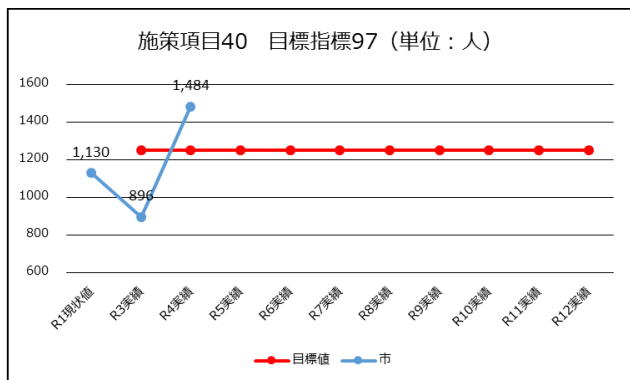
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標96 学校施設開放のスポーツ利用回数



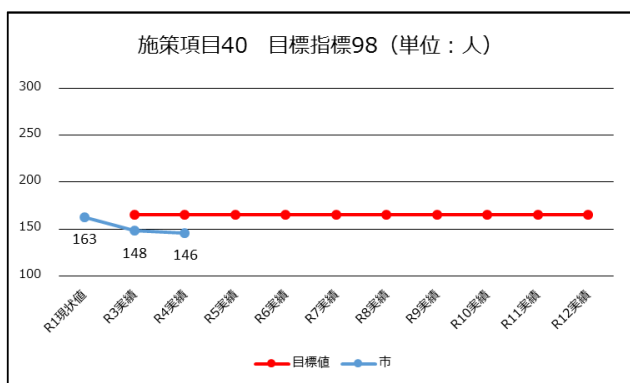
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標97 千歳市及び（公財）千歳市体育協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数（委託先指導者を含む）



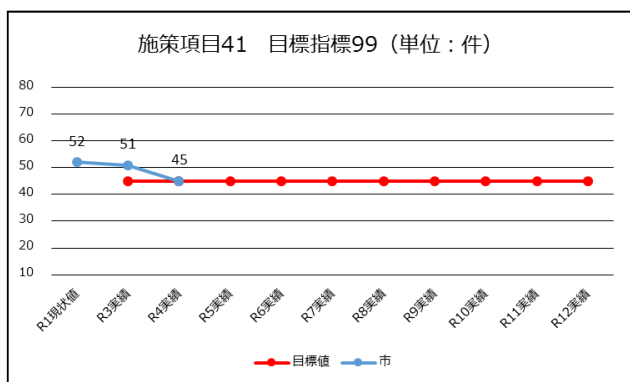
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標98 （公財）千歳市体育協会に登録しているスポーツ少年団指導者（各少年団認定員）の数



施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

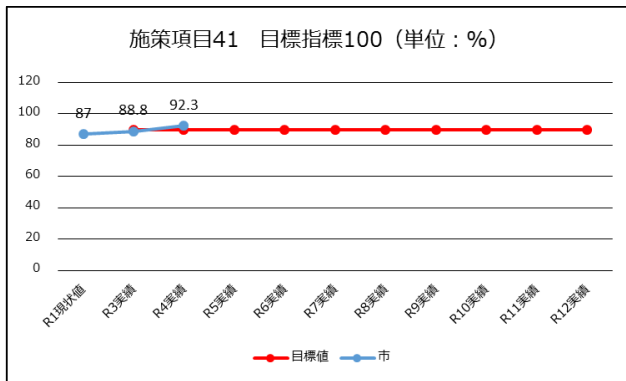
目標指標99 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数



※令和12年度までに改善意見の件数が45件を下回ることが目標

施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

目標指標100 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合



基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
教師との信頼関係や子どもたち同士によりよい人間関係を育む親和的な学年・学級経営を推進します					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
学校目標の実現を目指す学年・学級経営の充実	学校教育目標の実現を目指し、児童生徒の実態を踏まえ、身に付けさせたい資質・能力を明確にして、「どの場面で」「どのように力をつけるのか」を学年・学級経営計画に反映させ、組織的に親和的な集団づくりを進めます。			A	
ハイパーQU検査の活用	ハイパーQU検査の結果を児童生徒個々の指導や学級全体の指導に反映させるとともに、具体的支援の必要な児童生徒や学級について、共通理解を図ります。			A	
学習規律の徹底	全教職員が学校全体で定めた学習規律の共通理解と指導の徹底を図り、効率的・効果的な学習を促進します。			A	
自尊感情や自己有用感を高める取組の充実	授業や特別活動を通じて、児童生徒に存在感や達成感を味わわせ、自分の活動を振り返り、成長に気づかせるなど、自尊感情や自己有用感を高める学びの充実に努めます。			A	
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合		小 68.8% 中 50.0%	68.8% 62.5%	58.8% 62.5%	小 100% 中 100%
ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合		小5 65.0% 中2 30.0%	69.0% 38.0%	67.6% 37.0%	小5 90%以上 中2 80%以上
学習規律の維持を徹底している学校の割合		小 75.0% 中 75.0%	87.5% 62.5%	令和4年度調査 項目なし	小 100% 中 100%
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合		小6 87.0% 中3 83.3%	令和3年度調査 項目なし	86.8% 88.8%	小6 90%以上 中3 90%以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 2.5点以上3.0点以下) (評価平均 1.5点以上2.5点未満) (評価平均 0.5点以上1.5点未満) (評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)					
全児童生徒に対し、年間2回ハイパーQU検査を実施した。ハイパーQU検査を活用して学級・学年経営が充実するように、教頭会及び各校担当者に対する活用研修会を実施した。各校の検査結果分析に基づき、令和5年度以降の学級・学年経営により生かされるように、生活課題を焦点化して報告書にまとめた。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
いじめや不登校、学級の荒れを未然防止するために、引き続き、ハイパーQU検査を利活用する。学級満足度の高い学級の児童生徒は、学力も向上する傾向にあることから、研修会や報告書を通じて優れた実践の交流や専門家の具体的な方策を教員が学び、教職員による日常的な観察のほか、ハイパーQU検査で得られた客観的な学級の様子をもとに、各校の組織的な学級・学年経営の改善に取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
ハイパーQU検査について、結果からは各校で一生懸命取り組んでいることがよく分かります。それぞれの学級ごとに高い数値や低い数値があると思いますが、是非、各学級における成功体験や実践上得た経験などについて、共有する活動を各学校で取り組んでいただくと、効率的に学校の目標達成に向けた動きが出てくるのではないかと思います。					

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目2 確かな学力の育成		担当課	企画総務課・学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
授業改善の推進	千歳市学力向上検討委員会の提言に基づく取組を充実し、学力向上のための授業改善を積極的に進めます。		/	A	
個に応じたきめ細かな学習指導	子ども一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を目指し、千歳市独自の学習支援員を配置して、習熟度別少人数指導など、丁寧な学習指導により学力の向上を図ります。			A	
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	公立千歳科学技術大学の学生による長期休業中の学習サポートの実施やeラーニングを活用した取組の推進を図ります。		A	B	
ICT機器の整備・活用	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A	
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合		小6 82.0% 中3 76.4%	84.5% 75.3%	83.3% 77.8%	小6 90%以上 中3 90%以上
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合		小 国語：同様 小 算数：やや低い 中 国語：低い 中 数学：低い	96.4% 94.9% 95.8% 93.9%	94.5% 91.8% 94.2% 91.4%	小 全国比同様以上 中 全国比同様以上
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合		小6 62.8% 中3 65.8%	63.1% 66.9%	63.4% 57.3%	小6 90%以上 中3 100%
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (2.8点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績を記載する。）					
個に応じたきめ細かな学習指導を目指し、学習支援員を配置した習熟度別少人数指導など児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の充実を図ったほか、公立千歳科学技術大学と連携し、学生による長期休業中の学習サポートや、eラーニングを活用した取組を実施した。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
各校において全国学力・学習状況調査や標準学力検査をはじめ諸検査の結果をもとに授業改善に努めるほか、学習支援員による算数・数学科の習熟度別少人数指導などにより、引き続き学力向上の取組を推進する。また、AI搭載型のデジタルドリルを導入し、授業や家庭学習において、学習者用コンピュータを有効に活用できる環境を整備するとともに、公立千歳科学技術大学の学生ボランティアによる学習サポートの実施や、同大学が開発した電子学習システム（eラーニング）の各教科のコンテンツの検証、参加促進を図る。					
5 外部評価会議委員の意見					
千歳市ではAIデジタルドリルなどのICTの活用をはじめ、学習指導員や学習支援員を上手く活用しているなど、とても先進的なので、これからもその強みを活かしていただきたい。家庭学習については課題であり、特に中学校が良くないです。小学校5年生・6年生からの習慣作りがカギとなります。小学校4年生はやる気に満ちた学年なので、この段階で「家庭学習をやって当たり前」という習慣作りができればよいと思います。					

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目3 特別支援教育の充実		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
特別な教育的支援を必要とする児童生徒を的確に把握し、自立に向けた指導が確実に見えるよう、就学に関する丁寧な相談を通じて適切な就学先の決定に努めます。また、教員の知識向上を目的とした研修の実施や特別支援教育支援員等の配置により、特別支援教育体制の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
「個別の教育支援計画」等の作成と活用	児童生徒の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、活用します。		A	
教員研修等の充実	各学校が行う校内研修への支援や、教育委員会主催の研修会の実施、特別支援教育ハンドブックの活用等により、特別支援教育に関する教員の知識向上に努めます。	A		
教育相談、就学相談の実施	教育相談や就学相談の実施により、適切な就学先の決定や、支援の充実に向けた学校・保護者との連携に努めます。	A		
特別支援教育支援員、児童生徒ヘルパー、学校看護師の配置	通常学級には特別支援教育支援員、特別支援学級には児童生徒ヘルパーや学校看護師を配置し、児童生徒の実態に応じて学校生活の支援を行います。	A		
特別支援学級・通級指導教室設置校の拡大	特別支援教育対象の児童生徒数や障がいの実態に応じて段階的に特別支援学級及び通級指導教室設置校を拡大し、多様なニーズに応える教育の実現に努めます。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「個別の教育支援計画」の作成割合	51.7%	61.0%	76.1%	60%以上
発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数	年85回	123回	166回	年90回以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の実績内容及び実績を記載する。)				
通常学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒について「個別の教育支援計画」の作成を進めており、その作成割合は76.1%となった。児童生徒の発達の課題に関連する教育相談、就学相談については年166回実施した。障がいのある児童生徒の学校生活や学習活動の支援を行うため、要支援児童生徒や校内支援体制の状況に応じて、児童生徒ヘルパーや特別支援教育支援員、医療的ケア看護職員を市内小中学校へ合計91名配置した。小学校通級指導教室については、対象となる児童数が年々増加していることから、北陽小学校へ通級指導教室(発達・言語)を開設した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
特別支援教育については、施策の目標達成に向けて着実に取組みを進めており、現状の支援体制によって充実が図られているものと評価しているが、市内の児童生徒数が減少傾向にある中、全児童生徒数に占める特別な教育的支援を必要とする者の割合は年々増加しており、障がいのある児童生徒の就学先の確保に関して、教育支援委員会が担う役割の重要度と労力が増している。今後も早期から切れ目のない一貫した支援体制を維持していくことが必要な状況であり、みどり台小学校に新たに特別支援学級(知的障がい、自閉・情緒障がい)を設置するほか、引き続き各取組を継続して推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
高いレベルで達成しているので、これからも期待したいです。担当教員の数も今後増えていくので、研修の充実がますます必要になっていくと思います。				

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）の活用により、小中学校の英語教育の充実を図るほか、アンカレジ市との相互交流事業等の体験的な活動を含めた国際理解教育の推進に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
ALTを活用した英語授業の充実	市内全小中学校にALTを派遣することで、英語に関する興味関心を高めネイティブイングリッシュに触れる英語授業を推進します。	A	A	
英語の指導方法の工夫	小中連携により中学校の英語科教員が小学校で授業を行うことやデジタル教科書等のICT機器を活用して指導を行うことなど、効果的な指導について研究を進めます。		A	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間における国際理解教育の取組や、日常的に英語に触れる教材を整備するなどの取組が実施できるようにします。		A	
姉妹都市や姉妹校との交流事業の推進	サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流を実施して、外国の人たちとの交流を体験する事業を支援します。	B	B	
帰国・外国人児童生徒への支援の実施	日本語によるコミュニケーションが十分に行えない児童生徒の学習・生活の支援を行うため、支援ボランティアを学校に派遣します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
英検3級相当以上の英語能力を有する中学校3年生の割合	22.5%	50.7%	37.8%	50%以上
「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合	— 中3 50.9%	66.8% 53.2%	令和4年度調査 項目なし	小6 70%以上 中3 60%以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.7点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる（評価平均 2.5点以上3.0点以下） B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる（評価平均 1.5点以上2.5点未満） C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない（評価平均 0.5点以上1.5点未満） D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない（評価平均 0点以上0.5点未満）			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
小中学校の英語授業支援として、ALT（外国語指導助手）の体制維持に努めたほか、小学校低学年の外国語活動を支援する市民講師の派遣や姉妹校との交流事業を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
小学校英語教育の充実を図るためALTの体制を維持するほか、中学校においてはALTの体制拡大を検討するなど、英語教育の指導の工夫を図るとともに、児童生徒の習得状況を「英検ESG」、「英検IBA」検査により把握することにより、授業改善に取り組む。また、引き続き、サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流事業を継続し、国際理解教育の推進を図ることや、市民講師を活用した小学校低学年の外国語活動の取組を継続する。				
5 外部評価会議委員の意見				
千歳市はALTや小学校の市民講師の活用など、英語教育を手厚くサポートしているので、引き続き頑張ってください。サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流について、できるだけ多くの学校から参加いただけるよう、やる気のある子どもたちのために、参加できる機会の充実をお願いします。				

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目5 情報教育の充実		担当課	企画総務課・学校指導課		
1 施策の概要					
学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践とそれらの活用能力の育成を図ります。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価
教員のICT活用能力向上支援体制の充実		教員のICT活用能力向上のため、教員への研修の充実を図るとともに、ICT支援員を配置し、学校訪問によるサポート体制を充実します。		A	
ICT機器の整備・活用（再掲）		子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合		97.4%	93.9%	92.8%	99%以上
「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合		小6 48.3% 中3 27.6%	38.9% 23.9%	55.6% 75.2%	小6 100% 中3 100%
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)				
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績内容及び実績を記載する。）					
研修会は、夏に「GIGAスクール構想について」をテーマに実施し、1人1台端末環境が整うことを踏まえて、改めてGIGAスクール構想についての理解を深め、冬に「学習者用コンピュータの持ち帰りについて」をテーマに実施し、今後、日常的に学習者用コンピュータの持ち帰りを行うに当たっての活用方法等についての事例研究を行った。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
今後も新たに導入するAI搭載型のデジタルドリルについての研修会などを開催するとともに、各校での活用事例について情報共有を行うための勉強会の開催について検討する。					
5 外部評価会議委員の意見					
AIデジタルドリルの活用など、ICTの活用が進んでいて驚いています。1人1台端末環境は子どもたちの家庭学習のハードルを下げるなど、良い影響があると思いますので、家庭学習での活用が進むことを期待します。					

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的として、多様な体験的活動を取り入れながら、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成につながる教育活動を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間等において、千歳市の自然や人材等を活用して様々な分野で体験的な学習に取り組めるようにします。		A	A	
職場体験・就業体験の推進	社会人・職業人として自立していけるように、職場体験や就業体験を通じて学ぶことや働くことの意義を理解させるとともに、家庭・地域・企業等の協力を得て、社会的に自立できる能力の向上を図ります。			B	
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合		小 62.5% 中 100%	56.3% 100%	56.3% 100%	小 70%以上 中 100%
将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合		小 87.6% 中 100%	50.0% 75.0%	50.0% 62.5%	小 90%以上 中 100%
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (2.7点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績内容及び実績を記載する。）					
小中学校におけるアクティブスクール事業等の体験的活動や、将来の子どもたちの社会的・職業的な自立のため、企業等の協力を得て職場体験・就業体験を実施した。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
児童生徒が自ら考え行動する力を育成するため、アクティブスクール事業等の体験的活動の実施を継続するとともに、生きる力を育む多様な教育活動の機会を充実させるため、企業や地域等の協力を得て、学ぶことや働くことの意義を理解させるための職場体験や就業体験などのキャリア教育の推進を図る。					
5 外部評価会議委員の意見					
特にありません。					

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目 7 防災・安全教育の充実		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
防災、防犯、交通安全など、児童生徒、教職員の安全のための体制を整備するとともに、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できるような教育を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校安全マニュアルの整備	学校において防災マニュアルや防犯マニュアルなどの安全マニュアルを整備し、必要に応じて見直しを加えることで、随時学校安全体制の確認を行います。		A	
防災意識を高める防災教育の充実	過去の災害における貴重な訓練を伝えるとともに、災害に直面した際に、適切に判断し主体的に行動できるよう、子どもたちの危険回避能力の育成に努めます。		A	
避難訓練の充実	保護者引き取り型避難訓練や地域町内会等との合同避難訓練など、避難訓練の充実に努めます。		A	
交通安全教育の充実	子どもたちの交通事故防止のため、交通安全知識や交通ルールを習得させ、事故にあわない行動を徹底させる指導を行います。		A	
防犯教育の充実	警察や警備会社と連携を図るなどして、効果的な防犯教育の実施に努めます。		A	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合	小 100% 中 100%	100% 100%	100% 100%	小 100% 中 100%
通学路の安全点検を実施している学校の割合	小 100% 中 85.7%	100% 100%	100% 100%	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)				
小中学校において、学校安全マニュアルを整備したほか、防災教育、避難訓練、交通安全教育、防犯教育等を実施した。また、千歳市通学路交通安全対策専門部会による通学路合同点検を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
引き続き防災・防犯、交通安全など、児童生徒、教職員の安全のための体制を整備するとともに、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できる教育を推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
他市での熱中症の事故もあり、各校でも非常に危機意識が高まっていることと思います。各校で作成している危機管理マニュアルや安全マニュアルなどについて、古いものがあれば見直しを図っていただき、今後の事故防止に努めていただきたい。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進						
施策項目8 道徳教育の充実		担当課	学校指導課			
1 施策の概要						
小中学校における道徳教育について、子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標として、児童生徒の発達段階に応じて、特別の教科 道徳を中心に学校の教育活動全体を通じて行います。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
特別の教科 道徳の指導の充実		各学校における指導方法の研究・実践や研修などを通じて、特別の教科 道徳の指導の充実を図ります。		/	A	
各教科等における道徳教育の推進		各学校において道徳教育の全体計画を定め、国語科、社会科、総合的な学習の時間や特別活動などを通じ、教科等それぞれの特性に応じた道徳教育を推進します。			A	
人権教室の推進		地域の人材等を活用した人権教室を実施し、人権に関する正しい理解や自他を尊重し思いやる心を育む指導を推進します。			A	
3 目標指標			現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合			小 62.5% 中 87.5%	100% 62.5%	76.5% 75.0%	小 70%以上 中 100%
特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合			小 75.0% 中 50.0%	81.3% 62.5%	76.5% 87.5%	小 80%以上 中 75%以上
4 総合評価						
(1) 達成度						
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)				
D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)				
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績内容及び実績を記載する。）						
道徳教育充実のために、学校訪問等を通じて、指導助言を重ねた。各校ではすべての教育活動を通じて、道徳科のねらいが達成されるよう、道徳教育の全体計画を策定して、組織的に取り組んでいる。道徳科の研修と授業実践に基づいて、教育課程を改善し、指導の充実を図っている。各校で人権教室を実施し、周りの人のことを考える機会を通じて、人権に対する理解を深めている。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
引き続き、各学校の学校経営グランドデザインや全体計画に基づいて、各校の道徳教育が推進されるよう、研修機会の充実を図る。道徳教育は道徳科の授業を中核に、学校の全教育活動を通じて育成されるものであるため、全体計画や教育課程の改善に取り組んでいく。						
5 外部評価会議委員の意見						
しっかりと取り組んでいて、とても良いと感じます。						

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 9 いじめ・不登校に対する取組の充実		担当課	青少年課	
1 施策の概要				
千歳市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ根絶に向けて、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取組の推進や、不登校児童生徒の学校復帰を目指すなど、いじめ・不登校問題への取組の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」事業の実施	児童生徒からの提言発表や全体討論、講演会などを通じて、学校、家庭、地域が連携し、いじめの問題について共通理解を図るとともに、いじめ防止の普及啓発に努めます。		A	
子どもの人権問題事業の情報提供・教室の実施	人権擁護委員が全小中学校に出向き、命や思いやりの大切さ、差別やいじめのない社会の大切さなどについての指導を行い、児童生徒の人権意識の向上に努め、いじめの未然防止を図ります。			A
学校適応指導教室「おあしす」の充実	学校生活に適應することが困難な児童生徒に対して、居場所となる教室を開設し、体験活動や集団活動を通じて、適應能力の向上を図り、一日も早い学校復帰を支援します。		A	A
情報モラル教育の推進	インターネット上で個人情報の漏洩やいじめなど、教職員がネットトラブルに迅速に対応できるよう努めるとともに、保護者等へ啓発しながら情報モラル教育を推進します。			A
学校いじめ防止基本方針の推進	いじめの防止等のため策定した、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向け、定期的ないじめに関する調査を実施する等、総合的かつ効果的に取組を進めます。		A	A
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果(R3年度実績)	R5年度調査結果(R4年度実績)	R12目標値
いじめ解消率	99.0%	99.1%	98.0%	100%
不登校児童生徒が学校復帰(完全登校及び不定期登校)した割合	66.5%	86.1%	74.0%	72%以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の実績内容及び実績を記載する。)				
人権教室の開催や情報モラル教育の推進などにより、児童生徒の意識向上を図り、いじめ防止の普及啓発を推進している。また、適応指導教室では集団活動等について指導・援助を行い、通級児童生徒の自立や学校生活への復帰を目指している。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
いじめの認知件数や不登校児童生徒数は年々、増加していることから、いじめの未然防止や早期解決、学校復帰に向けた支援の充実がますます重要になっている。引き続きいじめシンポジウム等の取組により、いじめ防止の普及啓発を推進するとともに、適応指導教室では、通級児童生徒が自立への一歩を踏み出す手助けや、学校に復帰するきっかけを作ることができるよう取り組んでいく。				
5 外部評価会議委員の意見				
達成度が高い状況であり、取組内容が機能していることと思います。今後も継続した取組をお願いします。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目10 ふるさと教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
各学校において、地域の人材等と連携しながら、固有の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、地域の人材を講師に招いた歴史・文化学習や体験的な活動など、特色ある教育活動を推進します。	/	A	
小学校社会科副読本「私たちの千歳」の活用	千歳の歴史や環境、経済等に関する副読本「私たちの千歳」を定期的に改訂し、小学校社会科の指導に活用します。	B	B	
アイヌ文化学習の推進	千歳アイヌ協会などの協力を得て、アイヌの文化や伝統などについて学ぶ活動を推進します。	/	A	
発展する千歳のまちを知る取組	空港、工場、公共施設（消防署、リサイクル、防災等）などの社会見学を行い、地域のことを知る取組を推進します。	/	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合	小6 68.2% 中3 44.8%	54.5% 37.5%	50.2% 41.9%	小6 70%以上 中3 50%以上
「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合	小6 44.9% 中3 37.3%	51.9% 38.8%	51.7% 41.1%	小6 55%以上 中3 40%以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.6点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績内容を記載する。）				
千歳の歴史や環境、経済等に関する副読本「私たちの千歳」編集委員会を開催し、副読本の改訂作業に取り組んだほか、小中学校においてアクティブスクール事業を活用したアイヌ文化学習の取組や、小学校において、空港、工場、公共施設などの社会見学を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
各校において、地域の人材等と連携しながら本市や北海道の文化、人々の生活に触れるなどの活動を推進するほか、「私たちの千歳」を活用するなど、引き続き、ふるさとへの愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を図る取組を推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
千歳市は世界文化遺産もあり、古い時代も素晴らしいが、個人的には、今が一番良いと思っています。子どもたちには副読本などを活用し、千歳市についてしっかりと学んでいただき、千歳市への愛情や誇りを定着してもらいたいと思います。				

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 1 読書活動の推進		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
児童生徒の読書への関心を高め、自主的な読書活動を行うことができるよう、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進するとともに、市立図書館や学校図書館における読書環境の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
一斉読書の推進	「朝読書」などによる一斉読書等を継続し、読書習慣の確立と読書指導のさらなる充実を図ります。		A	
学校図書館を活用した学習・読書指導体制の充実	各教科や特別活動、総合的な学習の時間等を通して、司書教諭等を中核とした学校の指導体制の充実を図ります。		A	
家庭・地域・団体などとの連携による読書活動の推進	家庭、ボランティア、民間団体、市立図書館などとの連携・協力により、子どもたちの読書活動の取組を推進します。	B		
学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の機能を強化し、子どもたちの読書への興味や関心を向上させ、読書活動や学習活動を促進するため、学校図書館司書の配置を拡充します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合	小 100% 中 100%	94.0% 100%	100% 100%	小 100% 中 100%
「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合	小6 63.3% 中3 51.6%	60.3% 44.5%	59.7% 45.1%	小6 80%以上 中3 70%以上
学校図書館司書の配置人数	2校に1人	1.8校に1人	1.8校に1人	1.5校に1人以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.5点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)				
朝読書などの一斉読書の時間を設けている学校は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染対策のため、朝読書の時間を削り、時間を繰り上げて授業を実施するなどの対応をとった学校があったため、現状値を下回ったが、令和4年度は小中学校全校で実施ができた。また、家で普段10分以上読書をしていると回答した児童生徒の割合は、現状値よりも減少傾向にあるが令和2年度結果 (小6: 58.0% 中3: 41.8%) からは増加に転じており、これは読書週間事業や夏・冬休みの読書推進事業などの家読の積極的な推進が読書週間の定着につながったものと考えられる。学校図書館司書の配置については、毎年、計画的に配置人工を増やしている。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
児童生徒の読書への関心を高めるため、朝読書などによる一斉読書等を継続するとともに、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進するほか、読書環境の充実を図る学校図書館司書の配置拡充により学校図書館機能を強化していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
読書活動と子どもたちの心身の発達や学力は関わりが大きいです。千歳市では学校司書も配置され、様々な取組をされており、とても頑張っていると感じます。市の取組のほか、学校においても、例えば朝の図書の貸出を実施するなど、教員の負担はあるかもしれませんが、工夫した取組を行ってほしいと思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目12 体力・運動能力の向上		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
体育・保健体育の授業の改善を図るとともに、新体力テストの種目を活用した体力づくりを推進し、児童生徒の健康に対する意識を高め、運動習慣や生活習慣の改善を図ります。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
コーディネーション運動の推進	体を動かす喜びを感じ、運動に対する認識や生活の在り方考えることのできる体育科の授業を目指し、コーディネーション運動を推進します。	A	A		
新体力テストの実施	新体力テストの実施学年を拡大し、結果を記録して児童生徒や家庭にフィードバックして体力・運動能力や健康に対する意識を高めるとともに、指導の充実を図ります。	/	A		
「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」の成果の普及	指定校の優れた実践の普及を図り、新体力テストに関する各校の取組の一層の充実を図ります。		A	A	
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合		小5男95.3% 小5女92.1% 中2男89.6% 中2女79.5%	91.5% 88.2% 90.2% 84.6%	94.0% 89.0% 91.1% 85.2%	小5男100% 小5女100% 中2男100% 中2女100%
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点（※全国平均を100とした場合の千歳市の得点）		小5男49.7(合計) 小5女50.3(合計) 中2男49.8(合計) 中2女49.2(合計)	50.7点 49.5点 52.0点 50.6点	50.1点 49.9点 50.0点 48.4点	合計T得点50以上
運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合		小5 88.2% 中2 77.8%	52.9% 44.4%	50.0% 87.5%	小5 100% 中2 100%
「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合		小5男36.4% 小5女49.2% 中2男29.7% 中2女30.8%	30.4% 40.9% 23.2% 24.0%	31.1% 38.3% 23.0% 24.2%	小5男60%以上 小5女60%以上 中2男50%以上 中2女50%以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業実務者会議（年3回）において、体力向上の取組や新体力テスト実施体制などの事例検証を重ね、効果の高い取組を好事例として市内各校に広く周知した。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
引き続き、「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業実務者会議」を継続し、協力校や市内各校の体育の授業改善や運動習慣の好事例を共有していく。運動機会の創設や家庭での動画視聴時間の短縮に向けた啓発などを、学校と家庭が一体となって進めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
経験上、体力と学力は関係が大きいと感じており、学力が高い学校は運動能力も高い傾向にあります。「諦めない力」や「頑張る力」が、体力のある子どもは高いように思われます。体力を伸ばすことはいろいろなことにつながっていくので、頑張っていただきたい。学校では、運動スペースを作るなど、子どもたちを運動に向かわせる仕掛けを考えていく必要があると思いますので、教育委員会には、遊具の整備をしっかりとお願いします。					

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 3 食育の推進		担当課	学校給食センター・学校指導課	
1 施策の概要				
児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう、食に関する指導を充実させるとともに、学校給食における地場産品の活用を促進するなど、安全・安心な学校給食の充実に努め、学校における食育を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
食に関する指導の充実	児童生徒が食の重要性を理解し、望ましい食習慣を育成するため、栄養教諭を中心として、家庭とも連携しながら食に関する指導を推進します。		A	A
「早寝早起き朝ごはん」運動の推進	家庭における食に対する関心及び理解を深め、規則正しい生活習慣が形成されるよう、「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を促進します。		B	A
学校給食における地産地消の推進	食への感謝や地元の食文化への理解を深めるとともに、健やかな体を育成するため、学校給食における地場産品の活用を推進します。		B	
安全・安心な学校給食の提供	衛生管理体制の強化と給食施設の充実に努めるとともに、多様な献立や食物アレルギーに対応した学校給食を提供するため、新学校給食センターの整備を推進します。		A	
3 目標指標	現状値(R1)	R 4年度調査結果 (R 3年度実績)	R 5年度調査結果 (R 4年度実績)	R12目標値
食に関する指導の実施回数	139回	120回	197回	307回以上
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小6 93.7% 中3 91.4%	94.0% 90.1%	91.8% 91.8%	小6 100% 中3 100%
学校給食使用食材（野菜類）における地場産品利用割合	31.5%	34.0%	27.0%	50%以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.7点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる（評価平均 2.5点以上3.0点以下） B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる（評価平均 1.5点以上2.5点未満） C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない（評価平均 0.5点以上1.5点未満） D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない（評価平均 0点以上0.5点未満）			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績及び取組内容を記載する。）				
食に関する指導については、コロナ禍で制約があったものの目標を達成することができた。生活習慣の改善（早寝早起き朝ごはん）をめざして、生活リズムチェックや市P連家庭生活宣言の取組を行った。地場産品利用割合については、農産物であり気候等に影響されるため一時的に使用割合が低下したが、引き続き地場産品の利用に努めていく。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
引き続き、地場産品を活用した学校給食の提供を継続するとともに、徹底した衛生管理のもと、安全で安心な学校給食を提供するため、新学校給食センターの整備を推進する。また、学校・栄養教諭と協力して食に関する指導を拡充するとともに「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を促進することで、児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう取り組んでいく。				
5 外部評価会議委員の意見				
新型コロナウイルス感染症の影響により、評価が低い部分がありますが、回復していく見込みであるとのことなので、今後に期待します。おいしい食材があることは、千歳市の魅力の一つであり、おいしい食材を使って食べることができる喜びを子どもたちにも知ってほしいと思います。地場産品の利用の割合が増えることはとても良いことなので、今後も地場産品の利用割合が増えることを期待します。				

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 4 健康教育の推進		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校健康診断の実施	子どもたちの病気や健康上の問題の早期発見のため、学校保健安全法に定める学校健康診断を適切に実施します。	A	A	
性教育・薬物乱用防止教育の充実	関係機関と連携し、発達段階に応じて、性や薬物など健康に関わる問題に対する正しい知識や規範意識を確実に身に付け、適切な行動がとれるよう、性教育・薬物乱用防止教育の充実を図ります。		A	
学校保健委員会の充実	児童生徒が心身の健康の保持増進を図るための実践力を身に付けることができるよう、学校全体で共通認識の下、学校保健計画に基づく学校保健活動の充実を図ります。		A	
フッ化物洗口の実施	児童のむし歯予防を図るため、小学校におけるフッ化物洗口を実施します。	C	B	
感染症の予防に関する指導の実施	子どもたちが健康で安全な生活を送るために、感染症について理解し予防のための適切な行動がとれるよう、発達段階を踏まえた指導を実施します。	A	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
フッ化物洗口を実施している児童の割合	84.0%	35.3%	55.6%	90%以上
学校保健委員会を設置している学校の割合	小 94.1% 中 100%	100% 100%	100% 100%	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.6点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の実績内容及び実績を記載する。)				
小中学校において、法令等に基づく学校健康診断を実施したほか、小学校におけるフッ化物洗口や、性教育・薬物乱用防止教育、感染症の予防等に関する教育を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めていく。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いフッ化物洗口の実施率が低下したが、引き続き児童生徒のむし歯予防を図るため、保護者の理解を得ながら、小学校での継続的な取組を進める。				
5 外部評価会議委員の意見				
新型コロナウイルス感染症の影響により、フッ化物洗口の実施割合が減少していましたが、今後、実施率を向上させるとのことなので、継続的な取組が続くことを期待します。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 1 5 学校運営の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
児童生徒の実態や各種データ等を踏まえた教育課程を編成するとともに、校内組織体制の改善、PDCAサイクルを確立して学校の活性化を図ります。また、教職員の働き方改革の推進に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
カリキュラムマネジメントの推進	学校の特色を生かした適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を行います。		A	
学校指導訪問の充実	児童生徒の姿や各種データに基づいた教育課程の編成や確かな学力を身に付けさせる授業のあり方について、学校訪問を通じて指導・助言を推進します。	A		
教職員の働き方改革の推進	「千歳市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、各校における業務改善や実効ある環境づくりに努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	小 75.0% 中 62.5%	81.3% 87.5%	76.5%	小 100% 中 100%
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合	小 50.0% 中 25.0%	62.5% 12.5%	87.5% 70.6%	小 100% 中 100%
業務改善に取り組んでいる学校の割合	小 68.8% 中 62.5%	87.5% 87.5%	100% 100%	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.7点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)	
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)	
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)	
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)	
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
学校訪問におけるカリキュラムマネジメントへの指導助言を行った。学校では、各種データに基づく学校改善プランおよび教育課程を編成し、PDCAサイクルを意識することにより、組織的な改善を図っている。業務改善の取組として、時間外在校等時間の集計を市のHPIに掲載するとともに、校長会議等を通じて、各校の業務改善が推進するように交流を図った。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
児童生徒の実態や各種データによる客観的な実態を踏まえて教育課程を編成するとともに、PDCAサイクルを確立させて不断の改善が図られるように取り組んでいく。また、教育活動推進には、教職員が児童生徒と向き合う時間を創出することが重要なため、業務改善に引き続き取り組んでいく。このほか、部活動の地域移行について、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備や、部活動指導の負担軽減による教員の働き方改革に向け、「千歳市部活動地域移行推進協議会」を設置し、検討を進めていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
業務改善の取組については、着実に進んでいるイメージがありますので、今後も期待します。夏季休業の扱いについて、耐え難い暑さの中、夏季休業期間を延ばすことは難しいと思いますが、時期をスライドさせることはできると思いますので、学校とも協議し、検討していただきたい。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 16 学校施設・設備の充実		担当課	企画総務課	
1 施策の概要				
学校施設・設備の改修やICT環境の整備・更新を計画的に実施し、安全で快適な学習環境の整備を推進するとともに、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校施設・設備の適切な維持管理	学校施設・設備の点検を行い、破損や故障に迅速に対応します。	A	A	
学校施設の計画的な改修	老朽化が進んでいる施設や設備の改修を計画的に進めます。	A	/	
ICT機器の整備・活用（再掲）	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。	A		
市内小中学校の適正規模・適正配置	児童生徒数の推移等を踏まえた市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。	B	/	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
大規模改修（1校当たり2,000万円を超える工事）の実施校数（各年度の整備数）	2校	5校	4校	2校以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.8点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)	
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)	
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)	
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)	
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
令和4年度は、泉沢小学校の外壁及び屋上防水シートの改修、日の出小学校及び泉沢小学校並びに富丘中学校のトイレ洋式化に係る改修、北斗中学校の講堂屋根改修、富丘中学校の理科教室改修、みどり台小学校の外構整備工事を行った。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
学校施設については、「学校施設個別施設計画」に基づき、耐用年数や老朽度を踏まえて計画的な改修を行うとともに、児童生徒が暑さにより体調を崩した際、適切な応急処置ができる環境を整備するため、2か年で保健室にエアコンを設置する。 また、適正規模・適正配置については、児童生徒数の推計などをもとに、課題の整理と今後の方向性について検討を行う。				
5 外部評価会議委員の意見				
最近では、東京よりも札幌の方が暑い日があるとの報道がありますが、学校にはエアコンが無い状況であり、子どもたちも大変だと思います。特に小学校低学年や特別支援の子どもたちは、自分の体調を管理することや、自分の体調をうまく表現することが難しいため、熱中症のリスクが高く、中学生についても、勉強に集中することができず、夏季の学習が身につけていないということにもなりかねません。人生に関わると言っても過言ではないことなので、教室へのエアコン設置は、非常に必要性の高い課題であると思います。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 17 学びのセーフティネットの構築		担当課	企画総務課・学校教育課・青少年課		
1 施策の概要					
社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、専門家や地域の人材を活用した教育相談体制の充実、教育費援助制度の充実を図るとともに、遠距離通学となる児童生徒のためにスクールバス等を運行します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スクールカウンセラーの配置	問題行動等の早期対応を図り、児童生徒や保護者、教職員の悩みや不安を解消するため、小中学校に専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A		
心の教室相談員の配置	問題行動等の未然防止・早期発見を図るため、児童の身近な相談相手として地域の人材を活用し、小学校に心の教室相談員を配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A		
専門相談員及びスクールカウンセラーによる教育相談の実施	スクールカウンセラー未配置校を含めた全学的な対応を図るため、専門相談員の配置及びスクールカウンセラーによる教育相談日の開設など、教育相談体制の充実を図ります。	A			
就学支援の充実	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適切かつ迅速な就学支援に努めます。	A			
奨学金制度の充実	向学心があり能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な生徒、学生を支援するため、奨学金基金をもとに奨学金を交付し、等しく教育を受ける機会を確保する奨学金制度の充実を図ります。	A			
3 目標指標		現状値(R1)			R4年度調査結果 (R3年度実績)
スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数		602H 2,016件	700H 2,661件	748H 2,546件	666H以上 2,086件以上
奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合（高校生・大学生）		高校 1.2倍 大学 1.3倍	1.0倍 1.0倍	1.0倍 1.0倍	高校 1.0倍 大学 1.0倍
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
学校に臨床心理士として専門的な知識を有するスクールカウンセラー、地域の人材等を活用した身近な相談相手となる心の教室相談員を、それぞれ配置した。また、経済的理由により就学が困難な家庭に対する就学援助を実施するとともに、奨学金については、コロナ禍で所得が減少する世帯の増加を見込み、交付枠の拡大を図り、高い給付率を保った。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
社会環境の変化や個々の児童生徒の状況に対応できるよう、教育相談体制や教育費援助制度の充実が求められている。今後も教育相談体制の充実と児童生徒の実情把握を充分に図り、問題行動等への早期対応・未然防止に努めていく。また、教育費援助制度については、選考基準に達する者を可能な限り選考できるよう、奨学金制度の充実を図り、教育の機会均等の確保に努めるとともに、就学支援の充実を推進し、保護者の負担軽減を図ることができるよう取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
スクールカウンセラーや心の相談員について、学校への訪問や様々な助言は、学校の安定に非常に寄与していると思いますので、今後も継続して取り組んでいただきたい。奨学金の制度はとても良い制度で、教育の機会を失わせないこと、守ることは本当に大事なことであり、非常に尊い取組であると思います。					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 18 教員の研修の推進		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
教職員の資質向上を目的とした校内外の研修、接続する小中学校が連携した研修活動を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
授業改善につながる校内研修の充実	石狩教育局及び学校指導室による学校指導訪問を通じて、学校運営や授業改善について指導・助言を行い研修の充実を図ります。	A	A		
教職員研修の充実	市独自の研修会を充実し、教職員の積極的な参加を促進します。	A	/		
小中学校が連携した研修の充実	義務教育9年間を通して「目指す子ども像」の実現に向け、小中学校が連携した研修の充実を図ります。	A			A
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合		小 75.0% 中 75.0%	81.3% 87.5%	76.5% 75.0%	小 100% 中 100%
「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合		小 50.0% 中 62.5%	43.8% 50.0%	64.7% 50.0%	小 100% 中 100%
近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合		小 50.0% 中 25.0%	31.3% 62.5%	35.3% 50.0%	小 100% 中 100%
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
各校の授業改善が進められるように、定期的に市教委学校指導室や石狩教育局が学校訪問において指導助言をした。ニーズや社会的な要請に基づき、ICTやアレルギー対応、教科教育等の教職員研修を開催し、資質能力の向上を図るとともに、千歳市学校課題研究発表会（緑小学校、勇舞中学校）の開催を通して、授業実践の在り方の協議を深めた。小中連携・一貫教育推進会議は、中学校区ごとに実施し、めざす子供像の共有や中1ギャップ解消の方策などに取り組んだ。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
引き続き、喫緊の教育課題をテーマに、識者を招いて千歳市教職員研修会を開催する。教科・生徒指導など、より実践的な内容を提供することで、各校の授業改善や教育活動の充実に寄与する機会とする。また、千歳市小中連携・一貫教育実施要領に基づき、中学校区内の実態を踏まえ、中学校へのスムーズな接続を切り口に9年間の系統的な学びの構築に取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
教員の研修については、今ある課題に対応できる力を身につけてもらうために、とても良い取組だと思っておりますので、今後も充実した内容の研修の開催をお願いします。小中学校の連携については、新型コロナウイルス感染症の拡大前から非常に頑張っていた印象がありますが、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか進まない期間が出来てしまったことは残念です。これまでの成果などを大切にしながら、また新しい形で取り組んでいただきたいと思います。					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 19 家庭教育支援の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行うことなどにより、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進	千歳市PTA連合会との連携により「千歳市家庭生活宣言」の普及に努め、生活リズムの改善や学習習慣の定着により、健やかな子どもたちの育成を推進します。		A		
家庭への情報発信	学校は、児童生徒の学習への取組状況等を家庭に伝えるとともに、家庭学習の手引き等を活用し、各家庭が主体性を持って子どもたちへの働きかけを行うよう促します。教育委員会は、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施します。	B	A		
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合(再掲)		小6 93.7% 中3 91.4%	94.0% 90.1%	91.8% 91.7%	小6 100% 中3 100%
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合(再掲)		小6 62.8% 中3 65.8%	63.1% 66.9%	63.4% 57.3%	小6 90%以上 中3 100%
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (2.7点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の実績内容を記載する。)					
各学校から家庭へ、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施した。					
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行い、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけを継続する。					
5 外部評価会議委員の意見					
ある大学の教授が「スマホの害」、「SNSの害」という言葉を使っており、調査の結果、スマホなどは使った時間分だけ学習内容が消えていくと言われています。学校や市の立場として、なかなか大きい声で言づらい部分はあるかもしれませんが、大学の教授や研究者が言っていることをうまく活用し、通じる保護者には必ず通じますし、理解できる子どもや必ず理解できると思いますので、粘り強く「スマホの上手な使い方」を伝えていくことが必要だと思います。					

基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実		担当課	青少年課・学校指導課	
1 施策の概要				
学校と地域住民等が「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。子どもたちの登下校等の安全管理や学校への不審者侵入など緊急事態発生時に関係機関、地域と小中学校が連携した安全確保のための体制づくりを進めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
コミュニティ・スクール活動の充実	コミュニティ・スクールに対する地域の理解を深め、連携を強めることにより、学校課題の解決と充実した教育活動の実践につなげます。	/	A	
学校からの情報発信	学校だよりの地域町内会への回覧や、地域と連携した取組に関する学校ホームページへの掲載などにより、地域との協働を重視した情報発信に努めます。	/	A	
「千歳っ子見守り隊」と学校の連携	「千歳っ子見守り隊」とPTA活動、児童会・生徒会活動との交流の場を設けるなど工夫して、取組の充実や発展を目指します。	/	A	
安全に関する児童生徒の自主的な活動	校内や通学路の危険箇所や「子ども110番の家」の所在などを調査し、「安全マップ」を作成するなど、自主的な活動を展開します。	/	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合(再掲)	小6 68.2% 中3 44.8%	54.5% 37.5%	50.2% 41.9%	小6 70%以上 中3 50%以上
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合	小 50.0% 中 75.0%	50.0% 50.0%	47.1% 50.0%	小 75%以上 中 75%以上
千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」登録件数	594人 1,159件	584人 1,124件	533人 1,130件	600人以上 1,200件以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の実績内容を記載する。)				
保護者や地域住民にいろいろな形で学校とかがかわってもらうため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら「千歳っ子見守り隊」の研修会などを行った。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
学校運営をはじめ、犯罪などの被害に遭いにくい環境を創るためには、これまで以上に地域全体で子どもを育む意識の醸成が必要である。引き続き、学校を中心として家庭・地域及び関係機関等との連携を密にし、各取組を積極的に推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
コミュニティ・スクール活動などを通じて、地域と学校が連携を深め、共通意識に立った中で子どもたちの安全を見ていく流れが出来ており、非常に効果的であると感じています。街中で蛍光色の目立つジャンパーを着た見守り隊の方を見ると安心しますし、自動車の運転者も安全運転を心がけますし、犯罪者もいなくなると思いますし、地域にとっても非常に安心感につながるものだと思いますので、理解を深め、協力者が増えればよいと思います。教員は安全マップや地域の危険について把握し、目を光らせていただければと思います。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実						
施策項目 2 1 学校段階等間の連携・交流の充実		担当課	学校教育課・学校指導課			
1 施策の概要						
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校種間の交流、連携を推進します。また、義務教育9年間を見通した系統的な教育活動や小中学校の円滑な接続を目指す小中連携・一貫教育の取組を通して、子ども一人ひとりの学力・体力の向上と豊かな人間形成を図ります。引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
幼児教育と小学校との連携の促進		幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の間で子どもの成長に関する情報交換や交流の機会を充実させ、小学校へ円滑に接続できるよう取組を進めます。		B	A	
公立千歳科学技術大学との連携の推進		情報教育における協力・助言やeラーニングシステムの活用、長期休業中の学習支援など、公立千歳科学技術大学との連携による小中学校の教育活動の充実を推進します。		B	B	
小中連携・一貫教育の推進		義務教育9年間で目指す子ども像を設定し、小中学校が学習指導や生徒指導において系統性・連続性に配慮した教育活動を推進します。		A	A	
3 目標指標			現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)			小 50.0% 中 25.0%	31.3% 62.5%	35.3% 50.0%	小 100% 中 100%
4 総合評価						
(1) 達成度						
A (2.5点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)						
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校種間の交流、連携を図ったほか、小中連携・一貫教育を通して、小中学校9年間の系統的な学びを構築し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む環境づくりに努めた。						
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
子ども園等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たっての学校種間の交流や連携の取組や、小中連携・一貫教育の取組を通じた教育活動を推進する。また、引き続き、公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努める。						
5 外部評価会議委員の意見						
幼稚園や保育園との円滑な接続は非常に重要であり、連携をすればするほど子どもたちのことが把握でき、小学校1年生時に良いクラス分けをすることができます。中学校においても、きちんと取り組んでいけば、大きなマイナス面を避けることにつながります。また、子どもたちの未来を見据えるという点でも小中連携は重要であり、中学校で今ある課題の根本は、必ず小学校にあったはずなので、小学校時にどれだけ理解しているかが大切です。小学校・中学校とお互いの内容を理解しながら取り組んでいくことが重要であると思います。						

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 2 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
学習機会や学習情報の一元化・体系化に向けた学習機会提供者間の連携体制の構築と市民が主体となった地域コミュニティの形成に向けた市民活動相互の交流の場づくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
連携体制の構築と学習機会・学習情報・学習成果の評価の一元化	生涯学習関連事業を行う関係機関の連携体制を構築し、学習機会・学習情報・学習成果の評価を一元化・ネットワーク化する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」を実施し、市民の学習機会の充実に努めます。	B			
市民が学び合う活動の充実	市民や事業所、行政機関などが培ってきた専門性を生かして講師を務め、市民に学びを提供する「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、市民の学習活動や学びを通じた交流活動の充実に努めます。	B			
学習成果を交流する機会の充実	生涯学習に関わるフェスティバルやフォーラムなど、普段の活動や学習の成果を地域づくりに生かす機会を提供し、参加団体相互の交流や連携を通じて市民がまちづくりに主体的に参画する自立と連帯感の醸成に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数		—	36件 19人	64件 34人	↗
「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数		420回 14,588名	155回 4,973名	274回 8,424名	460回以上 16,000名以上
学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合		—	33.0%	94.0%	70%以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる	(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる	(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない	(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない	(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
ちとせを学ぶスタンプラリー事業については、連携講座の対象を拡充し運用している。千歳学出前講座については、前年度比で実績は伸びているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大以前の令和元年度実績にはまだ届いていない。ちとせ生涯学習フェスティバル「ふるさとポケット」や生涯学習フォーラムなどの開催については、まちづくりへの参加意識の高まりにつながっている。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の連携講座をさらに拡充することで、学習情報の一元的な発信につなげ、「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」については、新たな人材・団体の参画に向けて多方面に働きかけることにより、活発な活動・交流につなげていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
新型コロナウイルス感染症の影響のために、実施できなかった事業もある中、スタンプラリー事業の実施事業数と受講登録者数は、目標指標が上昇傾向にあり、事業に賛同してもらえる事業者を増加させるための成果が出ている状況であると評価します。					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進				
施策項目 2 3 学習情報と市民活動交流センター機能の充実			担当課	生涯学習課
1 施策の概要				
学習や地域活動の情報の一元化を進め、情報提供や学習相談など市民活動を支援する市民活動交流センター「ミナクール」のセンター機能の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
情報提供・相談事業など市民活動交流センター機能の充実	市民活動交流センターの市民活動の交流や作業の場としての機能を継続するとともに、より多くの学習情報や市民活動情報の収集に努め、情報の一元化を進め、センターの情報提供や活動相談機能を充実します。	B		
学習情報の一元化	市内の学習提供機関が参加する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」により得られた学習情報を一元化し、情報紙やホームページ、メールマガジンなどで市民に情報提供します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合	—	97.0%	90.6%	80%以上
市民活動交流センターが行った情報提供事業件数	518件	206件	338件	570件以上
市民活動交流センターが行った相談対応件数	63件	137件	124件	100件以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の実績及び実績を記載する。)				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、引き続き感染対策を講じながらの運営となったが、徐々に市民活動も再開され、利用数も回復してきている。利用者アンケートの満足度については目標を上回っているが、引き続き利用者の利便性向上に向けてサービスを検討していく。また、市内での各種事業も再開し、情報提供件数は昨年度比では増加しているものの、目標には達していない。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
引き続き、情報の収集、発信や自主事業を行うほか、千歳学出前講座の申込受付を令和5年度からミナクールでも行うこととするなど、利用者の利便性向上に向けた取組を進めるとともに、市民活動の再開に伴う多様な相談内容に対応することで、活動の支援を行っていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
市民活動交流センターが行った情報提供事業件数は、新型コロナウイルス感染症の影響によって減少しましたが、令和12年度の目標値達成に向けて、上昇傾向にあることは評価できます。ミナクールのセンター機能の充実についても、引き続き取組を進めてください。				

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 4 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
学習や実践活動を通じてまちづくり活動を支える人材の育成と、活動の成果を認め合う仕組みづくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
ひと・まちづくりリーダーの養成	「みんなで、ひと・まちづくり委員会」と連携して、市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる学習・活動の機会を提供し、各分野のまちづくりの担い手となる人材の拡大に努めます。	B			
市民の学びを支える人材の育成と活用	「千歳学出前講座」などの各種講座で市民が講師として活躍する場や社会教育事業の運営にボランティアとして携わる機会を提供し、学びを支える人材の育成と活用に努めます。	B			
学習成果の評価と学習成果を生かした活動の評価の仕組みの構築	「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」での学習歴の認証や学習成果の評価、学習成果を生かした社会的活動をする人への評価の取組を検討し、市民の学ぶ意欲の向上と地域活動への参加促進に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R 4 年度調査結果 (R 3 年度実績)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R12目標値
「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数		—	16人	16人	↗
「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数		412件	480人	501人	450人以上
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数		—	0人	0人	↗
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる	(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる	(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない	(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない	(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和 4 年度の実績 (令和 4 年度の取組内容及び実績を記載する。)					
「ちとせを元気に応援隊養成講座」については、令和 5 年度の開催に向けて企画会議を行い、市民が主体的にまちづくりに参画する意義やリーダー養成の手法について協議を深めた。「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、登録者数が着実に増加しており、体系的な学びの体制づくりにつながっている。ボランティア登録者数については、地域学校協働活動のボランティア登録者数の増加等により目標を上回った。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
「ひと・まちづくりリーダー」については、「ちとせを元気に応援隊養成講座」を令和 5 年度からステップアップ講座として開催することとしており、段階的な人材育成に取り組んでいく。「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、令和 5 年度までを試行期間としており、本格実施に向けて準備を進めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、ひと・まちづくりリーダーの認定数やスタンプラリー事業に登録して、指定された単位を修得し、表彰された人の人数が増加することを期待します。					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進				
施策項目 2 5 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
地域と学校、家庭の連携による地域学校協働活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育て、地域住民の生涯学習活動を通じた地域の教育力の向上に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
地域学校協働活動推進員の配置による地域学校協働活動の体制整備	学校区単位に地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民などの協力により、地域と学校が連携・協働して、学校の教育活動や地域で行われる各種体験活動を支える体制の整備を推進します。	B	A	
学校支援や放課後、週末の子どもの体験活動の実施などの地域学校協働活動の充実	学校支援活動をはじめ、放課後や週末の子どもの体験活動、地域行事との連携、家庭教育支援など地域と学校が連携した取組を充実し、地域学校協働活動の総合化とネットワーク化に努めます。	B	A	
子どもたちの活動を支える地域人材の登録と活用の促進	学校区や市内全域で子どもの各種活動を支える人材の登録を推進し、地域学校協働活動などで活用するとともに、地域学校協働活動推進員の研修やボランティアの情報交換の場を設け、活動の充実に努めます。	B	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合	—	0%	17.0%	100%
地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合	—	29.0%	100%	100%
地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数	459回 1,355人	454回 1,004人	779回 1,963人	500回以上 1,400人以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.5点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 2.5点以上3.0点以下) (評価平均 1.5点以上2.5点未満) (評価平均 0.5点以上1.5点未満) (評価平均 0点以上0.5点未満)	
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
学校専属の地域学校協働活動推進員（協働活動コーディネーター）を千歳第二小学校にモデル校として配置し、特にクラブ活動等における地域人材の新たな活用につながった。放課後や週末の体験活動としては、児童館未設置校区である千歳小学校における放課後子ども教室、その他の学校における子ども体験教室をそれぞれ開催した。新型コロナウイルス感染症の感染収束により、学校授業でのボランティア活用が活発化し、活動延べ人数は令和3年度と比較して大きく増加した。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
学校専属の協働活動コーディネーターの配置を引き続き進め、学校や地域の特色に合わせた支援の充実に取り組んでいく。放課後、週末の体験活動については、すべての学校区を対象に開催しているものの、参加人数が定員に満たない場合もあることから、児童の興味や家庭のニーズに合わせた内容・日時での実施について、外部人材の活用等も踏まえて検討する。				
5 外部評価会議委員の意見				
地域学校協働活動推進員の配置が進み、各校で学校や地域の特色に合わせた支援が行われることを期待します。				

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
まちづくりに関係する機関・団体と連携して、学んだ成果を地域で生かす活動の場づくりや地域活動への橋渡しをする情報提供・相談・コーディネート体制の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
学習成果を生かして講師や指導者として活躍する場の充実	市民や事業者が専門性を生かして講師を務める「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、講師や指導者として活躍する場を充実します。	B	/		
社会教育事業や地域社会でボランティアとして活躍する場の充実	社会教育事業で、これまで培った知識や経験などを生かして学習者を支援するボランティア活動の機会を提供するとともに、講座修了後に学習グループを組織化し、地域活動に取り組む活動の支援に努めます。	B			
学習成果を生かした活動のコーディネート体制の整備	ボランティアやNPOなど地域で行われる各種活動の情報提供や活動への橋渡しをするコーディネート体制を整備し、市民の学習で得られた成果を生かした地域の社会的活動への参加を促進します。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となったものの実施回数		105回	48回	91回	105回以上
千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数		1,697人	1,046人	2,181人	1,860人以上
教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数		—	2団体	2団体	10団体以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から申込みが減少傾向にあった千歳学出前講座や、その他ボランティア活用事業について、徐々に活用が再開され、令和3年度と比較して実績は増加となった。一方、事業終了後の自主的な活動団体については新たな組織化はされなかった。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
社会教育事業等でのボランティアとしての活動は活発化しており、それらを自主的な活動につなげていくコーディネート体制が整っていないことから、千歳市民活動交流センターミナクルでの相談対応業務や、みんなで、ひと・まちづくり委員会の各種人材養成事業を、自主的な活動の組織化を支援する体制として整備していく。					
5 外部評価会議委員の意見					
学習・活動グループを組織化して活動する団体として認識するプロセスについて、高星大学の職員から聞いている団体を認定する仕組みとのことですが、認定のプロセスを確立させることで累計数も伸びると思われしますので、認定プロセスの検討と確立を検討してください。					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 2 7 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
家庭教育の役割の理解を深め、家庭教育への参加意識を高める学習や交流の機会の充実と、関係機関との連携や家庭教育を支える人材の育成により地域社会で家庭教育を支える環境づくりに努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
家庭教育に関する学習機会の提供	これから親になる世代や保護者を対象に、乳幼児期、学齢期など、子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、親の育ちを支援します。また、保護者のほか地域住民など親以外の世代を対象に、家庭教育の理解を促進する学習機会を提供し、家庭教育を支える意識の向上に努めます。	B	/	
親子触れ合い交流事業の実施	児童生徒と保護者が学習や体験などを通じて親と子の交流を深め、父親など子どもとの関わりが少なくなりがちな保護者の家庭教育への参加意識の向上に努めます。	B		
子どもの望ましい生活習慣の定着などに取り組むPTA活動の支援	保護者同士の学び合いや情報交換などを通じて、子どもの望ましい生活習慣の定着など、家庭の教育力向上に向けて取り組むPTAの活動を支援します。	B		
地域社会で家庭教育を支える人材の育成と活用	「子育てサポーター」など家庭教育を支える人材を育成するとともに、関係機関と連携して地域で親の育ちを支援する環境づくりに努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合	100%	99.4%	97.1%	100%
子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数	16回	5回	18回	↗
4 総合評価				
(1) 達成度				
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)				
家庭教育に関する学習機会の提供及び親子触れ合い交流事業については、実施方法を工夫し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながら実施することができ、子育てサポーターの活動機会も創出することができた。また、千歳市PTA連合会の事業運営に対する補助金を交付し、団体の活動を支援した。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
近年、核家族化の進行やひとり親世帯の増加、地域の人間関係の希薄化などにより、保護者が身近な人から子育てやしつけ、教育について学び、経験を共有することが難しくなっている中、家庭における教育力の向上は、今日の市民生活において重要であり、保護者等へ家庭教育に関する情報提供や学習機会の充実が求められている。転入者の多い本市において、家庭教育に関する事業は、参加者にとって子育て学習の場のみならず、参加者同士の情報交流の場、学びを通じた人と人とのつながりをつくる場としての意義があり、今後ますます重要性が高まっていくと考えられることから、引き続き、家庭教育に関する学習機会の充実に努める。				
5 外部評価会議委員の意見				
転入者が多い千歳市にとって、家庭教育に関する事業の重要性は今後高まっていくと思われますので、家庭教育に関する学習機会や親子触れ合い交流事業等の定員が超過する状況になり、多くの人が参加を希望するような内容が実施できる事業となるように取組を継続してください。				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 2 8 青少年の自立と成長を育む学びの充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
地域の人材や関係団体との連携により、青少年の自立と成長を育む体験活動の機会や情報提供の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
青少年の体験活動機会の充実	(公財)千歳青少年教育財団などの関係団体と連携して、自然体験、社会体験、科学探求活動、リーダー養成、姉妹都市交流などの、各種体験活動の機会充実に努めます。	B			
青少年の体験活動情報の提供	市内で行われる様々な体験活動の情報収集を行い、事業情報紙「マナビィ」や「少年団体一覧表」などを発行して小中学生などに情報提供し、体験活動への参加を促進します。	B			
青少年の体験活動を支える人材の育成・活用と連携	子どもたちの体験活動を支える人材の育成と活用を進めるとともに、関係機関との連携を通じて子どもたちが身近な地域で各種体験活動ができる環境づくりに努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合		—	96.9%	93.8%	80%以上
「マナビィ」や「少年団体一覧表」など教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数		294件	203件	245件	294件以上
ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数		365人	433件	448件	400人以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)					
(公財)千歳青少年教育財団が行う教育事業の実施支援を通じて、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策という制限がある中で、青少年の体験活動の機会を創出することができた。教育委員会が主催する事業では、オンラインで姉妹都市である鹿児島県指宿市との青少年相互交流を行った。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
青少年期の体験活動は、コミュニケーション能力や自立心、チャレンジ精神、創造力、他者と協働する能力などの社会を生き抜く力や、規範意識、道徳心などを身に付ける子どもたちの成長にとって大切なものである。また、次代を担う人材の育成という社会的な責任も担い、家庭や地域社会、学校等と連携しながら行政が関与することは重要であることから、指宿市との青少年相互交流を4年ぶりに訪問交流として実施するなど、青少年の体験活動機会の一層の充実に努める。					
5 外部評価会議委員の意見					
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインで実施した事業もありますが、直接交流ができる状況に戻ることで、より一層の青少年の体験活動機会の充実が図られることを期待します。					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 2 9 青少年非行防止への取組の推進			担当課	青少年課	
1 施策の概要					
青少年の健全育成に対する意識啓発を行うほか、学校、家庭、地域及び関係機関・団体と連携し、青少年非行防止への取組を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
「青少年指導センター」巡回指導の実施	青少年の健全育成を進めるため、巡回指導を通じて児童生徒など青少年の問題行動の未然防止に努めます。	A			
育成相談の実施	問題行動などで悩んでいる親や、悩みを抱えている青少年に対し、適切な助言・支援が行えるよう相談体制の充実に努めます。	A			
ネットパトロールの実施	児童生徒がインターネットなどを利用して行うコミュニケーション活動において、不適切な利用によりいじめや犯罪などのトラブルに発展しないよう、ネットコミュニケーションを見守る取組を推進します。	A			
3 目標指標		現状値(R1)	R 4年度調査結果 (R 3年度実績)	R 5年度調査結果 (R 4年度実績)	R12目標値
青少年指導件数		96人	73人	129人	68人以下
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
警察や青少年指導員等と連携し、夜間指導や特別指導を実施したほか、相談できる大人が身近にいない青少年への助言や、ネットトラブルへの対応など、多方面から見守りを行うことで問題行動の防止に努めた。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
SNSの不適切な利用により、いじめや犯罪に発展しないよう、情報モラル教育を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の対応の変化に伴い、今後、青少年の外出機会はますます増えると考えられることから、青少年（成人者を含む）の問題行動の未然防止を図るため、家庭や学校、関係機関と一層連携した対応を行う。					
5 外部評価会議委員の意見					
青少年の非行防止への取組を推進できている状況は評価できます。青少年指導件数が令和3年度実績と比較すると上回っていますが、青少年の非行防止への取組を継続することで、青少年指導件数が減少していくことを期待します。					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実						
施策項目 3 0 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
社会の変化による生活上の課題に対応する力を高め、仲間とつながりながら意欲的に学び、地域活動への参加意欲を高める学習機会の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
はたちのつどい事業の実施		人生の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高める契機となるよう関連行事を実施します。新成人の企画などを導入し、青年層の地域活動の担い手づくりに努めます。		B		
生活課題に対応する学習機会の提供		変化の激しい社会を生きていくために必要な市民の健康や安全などの生活課題に対応した学習機会の提供に努めます。		B		
高齢者学級開催事業の実施		高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造するため、郷土の理解を深め、知識や経験を生かし、仲間とつながりながら地域社会で活躍することができる学習機会の提供に努めます。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合			77%	100%	97.8%	77%以上
高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合			—	79.2%	91.2%	70%以上
4 総合評価						
(1) 達成度						
B (2.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）						
はたちのつどいについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、完全入れ替えの2部制で実施した。高齢者学級開催事業については、実施方法等を創意工夫し、感染防止対策を取りながら実施することができた。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策という制限がある中で、学べる機会を創出できたことは大変有意義であった。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
市民一人ひとりが自己を磨き、豊かな人生を送るため、また、市民力向上のため、生涯の様々なステージで必要となる能力を身につけ、一人ひとりが生涯にわたって活躍していけるよう、生涯学習のニーズや現代的・社会的課題に応じた学習機会を提供する必要がある。生活課題や地域理解に対応した学習機会の提供、高齢者への学習機会の提供は、市民生活の向上や市民主体のまちづくり活動になくてはならないものであり、今後も市民ニーズと現代的・社会的課題に応じた学習機会の充実に努める。						
5 外部評価会議委員の意見						
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に注意しながら、はたちのつどいを開催したことは評価できます。高齢者への学習機会の提供については、市民ニーズや現代的・社会的課題に対応したメニューを心掛けた学習機会が提供されることを期待します。						

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実						
施策項目 3 1 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
関係機関との連携により、千歳の理解を深める学習機会と地域づくりにつながる地域課題や現代的課題に対応した学習機会の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供		地域に対する愛着と誇りを育み、地域の担い手づくりにつながる地域の人材や素材を活用した学習機会の提供に努めます。		B		
地域課題解決学習の推進		地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき課題とその対応を学習し、成果を地域づくりの実践につなげる地域課題に対応した学習機会の提供に努めます。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合			—	100%	97.1%	70%以上
教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合			70%	82.5%	71.1%	70%以上
4 総合評価						
(1) 達成度						
B (2.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）						
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染防止対策を取りながら、千歳の地域理解に関わる学習機会及び地域課題や現代的課題に対応した学習機会を提供することができた。千歳の地域理解に関わる学習事業のアンケートでは、「千歳への理解が深まった」という回答が多く得られた。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
地域理解や地域課題に対応した学習機会の提供は、市民生活の向上や市民主体のまちづくり活動になくてはならないものであり、今後も市民ニーズと現代的・社会的課題に応じた学習機会を充実する必要がある。また、学習の場は、参加者の情報交流の場として、学びを通じた人と人とのつながりをつくる場としての意義もあり、事業内容を工夫し事業効果を高めていく必要があることから、引き続き、時代に応じた学習機会を提供していく。						
5 外部評価会議委員の意見						
目標指標の2番目、「千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業」で、講座内容が「よく理解できた」と回答する参加者の割合が高まる学習機会の提供を期待します。						

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 3 2 社会教育施設機能と読書環境の充実			担当課	文化施設課	
1 施策の概要					
誰もが安全で快適に利用でき、社会の変化や市民の多様なニーズに対応した社会教育の場として公民館や図書館などの社会教育施設の機能の充実と子どもから大人まであらゆる世代の市民が読書に親しめる環境づくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
市民ニーズを反映した安全で快適に利用できる施設の整備	社会教育施設に関する多様なニーズの把握に努め、誰もが安全で快適に利用できるよう施設のユニバーサルデザイン化をはじめとした施設・設備の計画的な更新・改修を行い、社会教育施設の機能充実に努めます。	B			
公民館教室の実施	公民館の集い、学び、結ぶ機能を生かして、市民の教養の向上や健康の増進など、生活文化の振興や社会福祉の増進に役立つ短期・長期の公民館教室の充実に努めます。	B			
市民の誰もが親しめる読書環境の充実	図書の充実をはじめ、移動図書館車、検索サービスなど図書館機能の整備やおはなし会、ブックスタートにより、子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめる読書環境の充実に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合		83%	71.0%	87.0%	85%以上
図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件数		12件	8件	6件	10件以下
図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合		94%	-	93.9%	94%以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる	(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる	(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない	(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない	(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)					
公民館教室においては、ヨガやダンスなど体を動かす教室を開講し、図書館においては、読書活動の推進に当たり、図書館まつりをはじめ、児童生徒による読書スタンプラリーやインターネットによる図書の予約受付及び貸出を行った。					
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
市民ニーズを反映しながら、各社会教育施設設備等の改修により機能の充実に努め、各世代が読書に親しめる図書の充実やおはなし会、図書館まつり、文学講座、講演会などの読書普及活動を推進し、市民が読書に親しめる環境づくりに努めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
社会教育施設の改修は、計画的に行っていく必要があると思いますが、改善意見の件数が減少していることは、計画的な改修の成果が出ている結果と判断しますので、これからも計画的に施設改修に取り組まれることを期待します。					

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 3 文化芸術に親しむ環境の整備		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
市民ニーズを反映した「自主文化事業」の実施や広域的な連携による文化芸術の鑑賞機会と情報提供の充実とともに、文化芸術施設の計画的な整備に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
自主文化事業の実施と子どもたちの文化芸術活動の充実	「市民文化センター自主文化事業」などの実施により、音楽、美術、メディア芸術、芸能などの鑑賞や創作活動の機会を提供するとともに、子どもたちの文化芸術活動に親しむ機会の充実に努めます。	B	/	
広域的な連携による文化芸術鑑賞機会の充実	近隣の市町村や文化団体と連携して、市民の文化芸術の鑑賞や創作機会を充実するとともに、市の関係部局などと連携して、地域の優れた文化芸術活動の広域的な情報発信に努めます。	B		
文化芸術情報の充実	市内で実施される各種文化芸術イベントの情報を情報紙やホームページなどで提供し、市民の文化芸術活動への参加を促進します。	B		
文化芸術施設の機能充実	市民が良好な施設環境で文化芸術に親しむことができるよう、市民文化センターや市民ギャラリーの施設・設備の計画的な更新・改修に努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合	75.8%	72.6%	77.8%	86%以上
文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数	274件	104件	152件	280件以上
市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合	64%	64.1%	58.4%	75%以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
徹底した新型コロナウイルス感染症感染対策を行っており、文化芸術イベント数も増加傾向にある。市民文化センターでの総合的な感想では、「よい、ややよい」の評価は減少しているが「いつもありがとう」などの感謝の言葉が多く寄せられている。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
良質な文化鑑賞機会を提供するため、音楽鑑賞、演劇鑑賞、各種展覧会、体験学習など、多様な事業を継続して実施するとともに環境の整備に努めていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント件数が減少していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大前以上のイベント件数の実施を目指して施策に取り組んでいることは、目標指標の実績の伸びからも評価できます。今後もイベント件数の増加に取り組みながら、アンケートにおける満足度が上昇することを期待します。				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承						
施策項目 3 4 地域に根差した文化芸術活動への支援充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
地域に根差した文化芸術活動を行う文化団体の活動を支援するとともに、関係団体と連携して地域の文化芸術活動を支える人材の育成に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
文化芸術活動団体のネットワーク化と活動成果を発表する機会の支援		文化団体の連携による活動成果の発表機会である「文化芸術祭」をはじめ、地域に根差した文化の創造や継承・発展に取り組む文化団体の活動を支援します。		B		
文化芸術活動を支える人材の育成と活動意欲を高める取組の実施		団体運営や文化芸術イベントの企画立案のスキルなどを身に付け、地域の文化芸術活動を継承・発展に寄与する人材の育成に取り組むとともに、活動への意欲を高めるため、地域文化の発展に寄与した方への表彰を実施します。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
教育委員会の支援(補助・共催・後援)により実施された文化芸術事業の実施回数			57回	15回	39回	57回以上
文化芸術に関わる団体数(社会教育関係団体(文化芸術分野)と文化団体連絡協議会加盟団体の数)			70団体	173団体	186団体	70団体以上
4 総合評価						
(1) 達成度						
B (2.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)			
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)			
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)			
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)						
千歳市の文化団体の協議機関である千歳市文化団体連絡協議会の活動を支援することで、同会が主体的に展示会や発表会を企画・実施し、文化団体の活動機会の充実や市民の鑑賞機会の充実を図っている。教育委員会主催のフレンドリーコンサートは3年ぶりに実施することができた。また、千歳市民文化表彰は1人の方に表彰を行い、その功績をたたえることができた。						
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
市民による地域文化の創造に当たっては、優れた文化芸術の価値を地域の資源として捉え、これまで先人が育ててきた文化価値の理解を深め、鑑賞・創作の機会や団体等の活動を通じて、守り育てていくことが重要であることから、引き続き、文化団体の活動を支援するとともに、地域の文化芸術活動を支える人材の育成に努める。						
5 外部評価会議委員の意見						
新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術事業の実施回数は減少していましたが、目標値の達成に向けて、今後、実施回数が増加していくことを期待します。						

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 5 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援			担当課	埋蔵文化財センター
1 施策の概要				
埋蔵文化財をはじめとする文化財の保存及び調査・研究を行うとともに、市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を支援します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財保護のための事前協議	埋蔵文化財包蔵地の保護と開発事業などの調整を適切・円滑に行うため、「土木工事等のための発掘に関する届出」を提出する前に、事業者と事前に協議を行い、必要に応じて所在調査、試掘調査などを行います。	A		
発掘調査	事前協議の結果、埋蔵文化財が破壊される可能性がある場合は、発掘調査を行い、報告書を刊行します。	A		
遺跡のパトロール	文化財である遺跡の現況を把握し、適切に保存することを目的に、市内に所在する305か所（令和2年（2020年）3月時点）の遺跡について計画的にパトロールを行います。	A		
市指定無形文化財の保持団体への支援	市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を実施している団体に対して補助金を交付します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合	100%	100%	100%	100%
遺跡パトロールの年間実施箇所数	5か所	3か所	20か所	20か所以上
市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数	2件	2件	2件	2件以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
事前協議が提出された開発計画に対しては確実に対応し、埋蔵文化財の保護保存がなされている。令和3年度の課題であった遺跡のパトロールについては、令和4年度は力を入れて実施し、目標の件数を達成した。指定文化財保持団体への支援は着実になされている。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
文化財を後世に保護保存していくために、今後も事前協議を適切に実施し必要に応じて発掘調査を実施するとともに、引き続きパトロールに力を入れていく必要がある。また、市指定無形文化財への支援を継続する。				
5 外部評価会議委員の意見				
市内に所在する遺跡が増加している状況のようですが、パトロールに力を入れ、文化財の保護保存が確実になされていることを期待します。				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 6 文化財の活用の推進		担当課	埋蔵文化財センター	
1 施策の概要				
千歳市にある埋蔵文化財をはじめとする様々な文化財を活用し、積極的な公開や様々な市民ニーズに合わせた事業展開、情報発信を行い、市民が文化財に触れる機会の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財センター常設展示室の運営	市内の遺跡から発見された市指定有形文化財を含む出土文化財や関連資料及び国指定重要文化財「動物形土製品」、「土面」の複製品などを展示した常設展示室を運営します。	A		
企画展示の実施	遺跡や文化財をテーマとする企画展を開催します。	A		
体験学習会や講演会の実施	「縄文まつり」をはじめ、土器、石器、勾玉づくりなどの体験学習会や、埋蔵文化財に関するテーマの講演会を開催します。	B		
広報資料の作成	市民が埋蔵文化財に関心を持ち、身近に感じてもらうことを目標に、パンフレットや解説カードなどの広報資料を作成し、配布します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
埋蔵文化財センター展示室の見学者数	1,667人	1,974人	2,701人	1,650人以上
体験学習会への参加者数	465人	202人	356人	500人以上
講演会への参加者数	71人	-	25人	100人以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.8点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる (評価平均 2.5点以上3.0点以下) B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる (評価平均 1.5点以上2.5点未満) C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない (評価平均 0.5点以上1.5点未満) D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない (評価平均 0点以上0.5点未満)			
(2) 令和4年度の実績 (令和4年度の取組内容及び実績を記載する。)				
新型コロナウイルス感染症の影響により文化財の活用に関する事業は制限を受けた。中でも体験学習会等と企画展示は大きく影響を受けたが、キウス周堤墓群を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産登録された効果で埋蔵文化財センターの見学者数は目標を大きく上回った。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
増加する埋蔵文化財センターの来訪者の利便性向上を図るため、休日開館を期間を定めて試行的に実施するほか、千歳の文化財に対する関心をより高める取組を行うため、「キウス周堤墓群」を前面に出した各種取組を実施していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
新型コロナウイルス感染症の影響のため、体験学習会や講演会などの参加者数が減少していましたが、キウス周堤墓群を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産登録された効果で、埋蔵文化財センターの見学者数は上昇傾向にありますので、体験学習会や講演会の定員や開催回数を増やすような取組を行うことで参加者数が増加することを期待します。				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 7 世界文化遺産登録と資産保護の取組			担当課	埋蔵文化財センター・主幹（国指定史跡担当）
1 施策の概要				
縄文遺跡群世界遺産登録推進本部・同推進会議の構成員として、登録審査に対応した取組を推進し、世界遺産としてユネスコが認める保護水準を維持した資産保護の取組を進めます。また、キウス周堤墓群が持つ普遍的価値を次世代に向けて確実に継承していくため、資産の適切な公開・活用を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
世界遺産登録に向けた取組の実施	「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関係する4道県及び市町で組織する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部に参画し、世界文化遺産登録に向けた取組を推進します。	A	/	
包括的保存管理計画に基づく資産の経過観察（モニタリング）	資産の保存状況を計測するため、包括的保存管理計画に定められたモニタリング指標に基づき、定期的かつ体系的に経過観察を実施します。	A		
遺産影響評価の実施	関係行政機関の相互連携の下、構成資産及びその周辺で行われる開発行為を早期に把握し、縄文遺跡群の顕著な普遍的価値に与える影響について、適切かつ円滑に調査、予測、評価し、必要な保全措置を講じることにより、資産の保全に努めます。	A		
市民団体等との連携・協働による公開・活用の取組の実施	地域住民や市民団体と市の協働により、北海道・北東北の縄文遺跡群の価値を分かりやすく伝えるため、市民ガイドの育成等の取組を推進します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数	—	8回	8回	8回以上
構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握	100%	100%	100%	100%
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (3.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる（評価平均 2.5点以上3.0点以下） B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる（評価平均 1.5点以上2.5点未満） C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない（評価平均 0.5点以上1.5点未満） D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない（評価平均 0点以上0.5点未満）			
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
資産の保全については、パトロールや情報取得を定期的継続的に行い、資産や周辺環境に変化が生じる恐れがないかを事前に把握することで、保存管理を図ることができた。また、講演会等やボランティアガイドの実施により、資産の価値を市民や見学者に伝えることができた。また、キウス周堤墓群のガイダンス施設や展示施設、園路、駐車場などの整備に向け、基本設計を行った。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
令和3年7月に世界文化遺産に登録されたことから、今後は世界文化遺産としての価値を保持できるよう、引き続き、保全のための各種取組を実践するとともに、その価値を広く伝えるための啓発活動を行っていく。また、キウス周堤墓群の整備に向け、令和5年度は実施設計を行う。				
5 外部評価会議委員の意見				
資産や緩衝地帯のパトロール回数については、パトロールの状況により、目標指標以上の回数を行わなければならない可能性があります。世界文化遺産としての保全と整備に向けて、着実に取り組んでいくことを期待します。				

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目 3 8 スポーツ活動の啓発と参加促進			担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要					
スポーツ活動への参加を促進するため、スポーツに関する普及啓発と情報提供を行うとともに、スポーツ振興に係る功労者やスポーツ大会での成績優秀者の表彰を実施します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
スポーツ活動に関する情報提供	広報ちとせ、千歳市や（公財）千歳市体育協会のホームページ、地域情報紙などを活用してスポーツ活動に関する啓発や情報提供を行うことで、市民のスポーツ活動への参加を促進します。		A		
千歳市スポーツ表彰制度	千歳市のスポーツ振興に寄与した個人・団体には「スポーツ賞」を、また、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収めた個人・団体に「スポーツ奨励賞」を贈呈し、市民のスポーツ意識の高揚に努めます。		B		
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
千歳市及び（公財）千歳市体育協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対する参加割合		93%	81.6%	93.0%	93%以上
千歳市スポーツ表彰被表彰者数		5人	2人	1人	4人以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
A (2.5点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）					
スポーツ活動に関する情報提供は、地域情報誌やホームページなどを活用して行っている。千歳市スポーツ表彰は、市内スポーツ団体等へ周知を行っているが、推薦者が減少傾向にある。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
各種スポーツ教室・行事は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら実施した。今後も情報誌やホームページの活用、千歳市体育協会の加盟団体や指導者と連携して広く情報提供を行い、参加者の維持に努める。千歳市スポーツ表彰については、実績のない団体や推薦者数の少ない団体に対しても確実に周知を行うなど制度に対する理解を深め、幅広く表彰者の推薦が行われるように取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
表彰制度の対象となる推薦者が少ない状況にあるようですが、各団体に対し、制度の周知を図り、多くの推薦者が出ることで、被表彰者数が増えることを期待します。					

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進				
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実		担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要				
スポーツイベントやスポーツ教室などを通して、競技スポーツのほか、年齢や体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。また、既存のスポーツ施設の利用を促進するとともに、学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
各種スポーツイベントなどの開催	千歳ジュニアスポーツフェスティバル、秋の市民歩こう会、ホルメンコーレンマーチなどを開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B	/	
スポーツ教室の開催	スポーツ関係団体と連携して各種スポーツ教室を開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B		
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施	カローリング、キンボールなどのニュースポーツを千歳学出前講座で実施することにより、年齢と体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。	A		
学校施設開放の実施	学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用し、生涯スポーツ活動の推進に努めます。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施回数	40回	5回	27回	40回以上
屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者	751,952人	408,000人	635,000人	800,000人以上
学校施設開放のスポーツ利用回数	6,821回	2,936回	5,436回	7,500回以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.5点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)	
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)	
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)	
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)	
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の取組内容及び実績を記載する。）				
各事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部が中止となったが、多くは感染状況を考慮しながら実施した。学校開放は通年でを行い、スポーツ活動の場所を提供することができた。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
今後も各事業の取組を行い、スポーツ事業等の参加者や出前講座の実施回数、施設等の利用者の増加や維持に取り組んでいく。				
5 外部評価会議委員の意見				
新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかったスポーツイベントやスポーツ教室があると思いますが、出前講座の実施回数や、施設利用者数は増加傾向にありますので、引き続き、市民がスポーツに親しめる機会の充実に向けて、着実に取り組んでいくことを期待します。				

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進				
施策項目 4 0 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成		担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要				
将来のスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成のため、スポーツ指導者の配置を行うとともに、公益財団法人千歳市体育協会を通じてスポーツ関係団体への助成などを行います。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
スポーツ指導者の配置	スポーツイベントやスポーツ教室、スポーツセンターや総合武道館にスポーツ指導者の配置を行うことで、スポーツ活動を支援します。	A		
スポーツ関係団体への支援	(公財)千歳市体育協会を通じてスポーツ関係団体へ助成などを行うことで、多様化するスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成を促進します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
千歳市及び(公財)千歳市体育協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数(委託先指導者を含む)	1,130人	896人	1,484人	1,250人以上
(公財)千歳市体育協会に登録しているスポーツ少年団指導者(各少年団認定員)の数	163人	148人	146人	165人以上
4 総合評価				
(1) 達成度				
A (2.5点)	A: 施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる	(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいる	(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C: 施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない	(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D: 施策の目標達成に向けて、取り組んでいない	(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績(令和4年度の実績内容を記載する。)				
スポーツ指導員の配置は、千歳JAL国際マラソンなどの大規模イベントやスポーツ行事の再開傾向により目標を上回る派遣数となった。スポーツ少年団指導者については、団体への助成金などにより指導者の育成・確保に努めているが、減少傾向にある。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
今後は、各種スポーツ行事が継続的に開催されると考えられるので、支援人数も実績程度で推移できると思われる。指導者数は、引き続き各団体への支援継続を行い、確保・育成に努めていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
スポーツ少年団の指導者数が減少傾向にありますが、体育協会の指導者養成事業の周知や拡大を行うことで、指導者の育成・確保につながることを期待します。				

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目 4 1 スポーツ施設の機能充実と利便性向上		担当課	スポーツ振興課		
1 施策の概要					
既存のスポーツ施設を、誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿った計画的な整備改修、効率的な施設運営を行い、機能充実と利便性の向上に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スポーツ施設の整備改修の実施	スポーツ施設を誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿って計画的に整備改修を推進します。	B	/		
スポーツ施設の備品整備の実施	利便性、安全性を向上するとともに、スポーツニーズの多様化、高度化に対応した備品整備を推進します。	B			
スポーツ施設運営	スポーツ施設利用者の利便性向上のため、利用者ニーズにあった効率的な施設運営に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R4年度調査結果 (R3年度実績)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R12目標値
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数		52件	51件	45件	45件以下
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合		87%	88.8%	92.3%	90%以上
4 総合評価					
(1) 達成度					
B (2.0点)	A：施策の目標達成に向けて、着実に取り組んでいる		(評価平均 2.5点以上3.0点以下)		
	B：施策の目標達成に向けて、取り組んでいる		(評価平均 1.5点以上2.5点未満)		
	C：施策の目標達成に向けて、あまり取り組んでいない		(評価平均 0.5点以上1.5点未満)		
	D：施策の目標達成に向けて、取り組んでいない		(評価平均 0点以上0.5点未満)		
(2) 令和4年度の実績（令和4年度の実績内容及び実績を記載する。）					
経年劣化で破損する施設が多い中、利便性や安全性を考慮して優先度を整理し計画的に各施設の修繕を行った。また、施設管理についても、利用者のニーズを把握しつつ、利用者がスポーツに楽しめる環境づくりを行った。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
今後も修繕が必要となる施設は多いことから、必要性を整理しつつ、計画的に修繕を行っていく。また、利用者アンケート等を参考にし、より良い環境づくりに努めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
修繕が必要な施設が多い状況ではありますが、利用者アンケートの内容も踏まえて、計画的に修繕を行い、利用者がスポーツを楽しめる環境を維持できることを期待します。					

資料

教育委員会は、教育に関する事務を行うことを目的とした行政機関で、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第2条）に基づき設置しています。

この法律において、教育長及び教育委員、並びに教育委員会会議、事務局、教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限など基本的な事項が規定されています。

なお、教育委員会会議やその他運営については、同法の規定によるほか、「千歳市教育委員会会議規則」「千歳市教育委員会事務委任等規則」に基づいて行われています。

1 教育委員会会議の開催概要

開催日	議事等	
令和4年第5回 (令和4年4月27日)	議案第1号	千歳市奨学生先行委員会委員の委嘱又は任命について
	議案第2号	令和4年度学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第3号	教職員の処分内申について
令和4年第6回 (令和4年5月23日)	議案第1号	千歳市議会第2回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
	議案第4号	千歳市奨学生の選考及び奨学金学の決定について
	議案第5号	千歳市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について
	議案第6号	千歳市社会教育委員の委嘱について
	報告第1号	令和3年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について
	報告第2号	令和3年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査2回目）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査2回目）の結果について
令和4年第7回 (令和4年6月29日)	議案第1号	令和4年度千歳市学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第2号	千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案第3号	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱又は任命について
	報告第1号	教職員の処分について
令和4年第8回 (令和4年7月20日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	報告第1号	令和4年度第28回千歳市・指宿市青少年相互交流事業について
	報告第2号	令和3年度指定管理者モニタリング結果について
	報告第3号	令和4年度千歳市標準学力検査・知能検査の分析について
令和4年第9回 (令和4年8月31日)	議案第1号	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第2号	令和5年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について
	議案第3号	令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	報告第1号	令和4年度ハイパーQU検査（1回目）の結果について
令和4年第10回 (令和4年9月9日)	議案第1号	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

開催日	議事等	
	報告第1号	令和4年度新体カテストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について
令和4年第11回 （令和4年10月26日）	報告第1号	令和3年度千歳市教育振興基本計画の総合評価結果について
	報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について
	報告第3号	令和5年度千歳市教育予算要望について
	報告第4号	令和4年度千歳市民文化表彰受賞者について
令和4年第12回 （令和4年11月21日）	議案第1号	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	千歳市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
令和4年第13回 （令和4年12月26日）	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市奨学生選考基準の一部を改正する訓令の制定について
	議案第3号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法等について
	議案第4号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	報告第1号	令和4年度千歳市学力向上検討委員会報告書について
	報告第2号	令和4年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査第1回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第1回）の結果について
	報告第3号	令和5年「千歳市はたちのつどい」の開催について
令和5年第1回 （令和5年2月16日）	議案第1号	千歳市議会第1回定例会教育行政報告について
	議案第2号	学校給食費公会計化等について
	議案第3号	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第4号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第5号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について
	報告第1号	令和4年度ハイパーQU検査（11月実施）の結果について
	報告第2号	令和5年度公益財団法人千歳青少年教育財団事業計画及び予算について
	報告第3号	史跡キウス周堤墓群整備基本設計（案）について
令和5年第2回 （令和5年2月22日）	議案第1号	教職員の異動内申について
令和5年第3回 （令和5年3月2日）	議案第1号	教職員の異動内申について
	議案第2号	教育委員会委員の辞職についての同意について
令和5年第4回 （令和5年3月24日）	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第3号	千歳市教育委員会会計年度任用職員の号俸を定める規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第4号	千歳市教育委員会の所管に係る個人情報保護条例施行規則を廃止する規則の制定について
	議案第5号	千歳市教育委員会職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部

開催日	議事等	
		を改正する規則の制定について
	報告第1号	部活動の地域移行及び市の部活動の在り方に関する方針の改定について

2 教育行政執行方針

【はじめに】

令和4年第1回定例会市議会の開会にあたりまして、令和4年度の教育行政執行方針を申し上げます。

グローバル化や少子高齢化の進展、Society5.0社会の到来などに加え、長引く新型コロナウイルス感染症の影響など、社会を取り巻く環境が大きく変化する中、未来を担う子どもたちが、たくましく生きていくために必要となる資質・能力を確実に身に着けることができるよう、教育環境の確保・充実が求められております。

このような中、国は、目指すべき「令和の日本型教育の姿」を「すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」とし、学校教育の推進にあたっては、それぞれの学びを一体的に充実させ、新学習指導要領に定める『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善への取組を進めていく必要があります。

また、生涯学習の充実にあたっては、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習することができ、学びを通して、まちづくりで活躍する人材を育む『生涯学習社会の構築』を進めていく必要があります。

これらの状況を踏まえ、『千歳市教育振興基本計画』に基づき、今後も、教育活動のさらなる充実に取り組んでまいります。

【教育行政の基本姿勢】

ここで、教育行政に臨む基本姿勢について申し上げます。

一つ目は、『未来を拓く人づくり』であります。

急速に変化する時代の中、その状況を前向きに受け止め、自立してたくましく生きることができ、人づくりを目指してまいります。

二つ目は、『つながりの教育による人づくり』であります。

学校・家庭・地域が課題を共有し、地域社会全体で、学びを通して解決策を導き出すことができる、学びでつながる人づくりを目指してまいります。

三つ目は、『ふるさと千歳を育む人づくり』であります。

地域の歴史や文化を学ぶことにより、ふるさとへの愛着を高め、地域を支える人材を育成する、ふるさととともに生きる教育を目指してまいります。

【教育重点施策】

次に、令和4年度の教育重点施策について申し上げます。

第1に、『確かな学力の向上』であります。

社会構造が大きく変化していく時代において、「知識及び技能」の習得と、「思考力、判断力、表現力」の育成、「学びに向かう力、人間性」の涵養という、子どもたちが身に付けるべき資質・能力の三つの柱の育成がバランスよく実現できるよう、学習活動を一層充実させることが重要であります。

各小中学校においては、学習支援員による習熟度別少人数指導などの取組を継続するとともに、ICT機器を効果的に学習指導に生かすことにより、引き続き、確かな学力の向上に取り組んでまいります。

第2に、『教育環境の整備』であります。

学校施設における安全・安心な教育環境を確保するため、校舎・講堂の計画的な改修に取り組むとともに、感染症対策として、普通教室や水飲み場などの抗菌・抗ウイルスコーティングを実施します。

また、北陽小学校の分離新設校となる「みどり台小学校」を本年4月に開校し、教育環境の改善を図ります。

さらに、分離後の教室を活用し、北陽小学校には新たに通級指導教室を設置するとともに、特別支援学級を拡充します。

第3に、『特別支援教育の充実』であります。

「千歳市の特別支援教育の推進に係る基本方針」に基づき、引き続き、必要とするすべての小中学校への「特別支援学級」の整備を進めるとともに、「通級指導教室」の設置校の拡充を図るなど、今後も、個々のニーズに合った学びの場を選択できるよう、特別支援教育の充実に努めてまいります。

第4に、『いじめ・不登校等への対策』であります。

いじめ問題への対応は、「千歳市いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは人間として絶対に許されるものではなく、どの学校でも起こりうるものである」という確固たる認識のもと、いじめの未然防止、早期発見・迅速な対応に努め、引き続き、その根絶に向けて学校・家庭・地域等との連携により取り組んでまいります。

また、不登校の児童生徒への対応については、教員とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが児童生徒・保護者の悩み、不安等の情報を共有するなど、引き続き、組織的な支援を行ってまいります。

青少年非行防止への取組については、青少年の問題行動の未然防止などに取り組むほか、SNSの不適切な利用により、いじめや犯罪に発展しないよう、児童生徒のネットコミュニケーションの監視など、インターネットに関するトラブルの未然防止の取組を継続してまいります。

第5に、『生涯学習の推進』であります。

市民が活躍する生涯学習によるまちづくりを推進するとともに、対面によるセミナーなどの学習機会に加え、WEB会議システムを活用したオンラインによる手法なども取り入れながら、各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実に努めてまいります。

また、まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承を進めてまいります。

【主な施策】

次に、「千歳市教育振興基本計画」の基本理念を実現するための6つの基本目標について、主な施策を申し上げます。

第1は、『社会で生きる力を育む教育の推進』であります。

「学年・学級経営」については、望ましい学級集団の形成が児童生徒を育成するための基盤となることから、引き続き、ハイパーQU検査の客観的な分析を活用するなど、学年・学級経営の点検・改善に努め、互いに認め合い、高め合う親和的な学級づくりを進めてまいります。

「確かな学力の育成」については、千歳市学力向上検討委員会による提言を踏まえた授業改善の取組の徹底と検証、学習支援員の効果的な活用による習熟度別少人数指導の一層の推進、学習者用コンピュータやデジタル教科書、電子黒板などのICT機器を活用した学習指導の実施など、学習指導の充実に努めてまいります。

また、「さっぽろ連携中枢都市圏」の枠組みを活用し、本年4月に札幌市が開設する公立夜間中学校「札幌市立星友館中学校」に、本市在住者が就学できるよう、費用負担を行うなど、教育機会の確保を図ってまいります。

「特別支援教育」については、支援を必要とする児童生徒が、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導を受けることができるよう、教育相談を通じた適切な就学先の決定に努めてまいります。

また、末広小学校に、新たに特別支援学級を設置するなど、教育環境の充実に努めてまいります。

「外国語教育」については、引き続き、外国人英語指導助手（ALT）の活用や担当教員の英語指導力の向上を図るとともに、国の「学習者用デジタル教科書実証事業」を活用し、全小中学校において、学習者用コンピュータを用いた英語授業に取り組むなど、外国語教育の充実に努めてまいります。

「情報教育」については、学習者用コンピュータの1人1台端末整備を完了し、教科等において、効果的にICT機器の活用を図るほか、児童生徒の情報活用能力の育成に取り組んでまいります。

また、ICT機器の効果的な活用方法の研修など、引き続き、教員のICT機器の活用能力を高める取組を進めてまいります。

第2は、『豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』であります。

「ふるさと教育」については、本市や北海道の文化、人々の生活などに直接触れたり、観察することにより、広く豊かな経験を持たせる教育活動を推進するほか、小学校社会科副読本「私たちの千歳」を活用するなど、郷土に対する愛着や誇りを育む、ふるさと教育の充実を図ってまいります。

「読書活動」については、「第3次千歳市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書活動の充実を図るほか、学校図書館司書を活用し、読書相談や調べ学習でのアドバイスなど、学校図書館の機能充実を図ります。

「体力・運動能力」については、新体カテストの結果などを踏まえ、引き続き、効果的な体育活動を普及啓発するなど、児童生徒の健やかな体の育成に努めます。

「食育」については、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせるため、栄養教諭を中心とした食に関する指導を推進し、食育の充実を図ります。

学校給食については、安全・安心で、よりおいしい給食を提供するため、新しい献立の追加や味付けを工夫するなど、学校給食の改善に努めます。

また、新学校給食センターの整備については、引き続き、事業費の精査や整備時期の検討を行うなど、その実現に向けて、取組を進めてまいります。

第3は、『学びを支え、つなぐ教育環境の充実』であります。

「学校運営」については、学校教育主事等による学校指導訪問を通じて、カリキュラムマネジメントの充実・強化、授業改善や学習規律の徹底などへの指導・助言を行うほか、「千歳市立学校における働き方改革推進計画（第2期）」に基づき、引き続き、時間外勤務時間の客観的な記録、勤務時間外の留守番電話対応や学校閉庁日・部活動休養日の設定などに取り組むほか、新たにテストの採点を一括で行う「デジタル採点システム」を導入し、業務の効率化を図るなど、引き続き、教員の働き方改革の推進に努めてまいります。

「学びのセーフティネットの構築」については、経済的理由で教育の機会が失われることのないよう、引き続き、就学援助制度の周知を行うなど、必要な支援に努めてまいります。

また、給付型奨学金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、出願者数の増加が見込まれることから、交付人数の拡大を継続します。

「家庭教育支援」については、家庭に対する働きかけが適切に行われるよう、千歳市PTA連合会との連携による「家庭生活宣言」の普及啓発等を通じ、子どもたちの規則正しい生活習慣や学習習慣、社会生活ルールやマナーの習得を目指します。

「学校と地域の連携・協働」については、学校運営協議会（コミュニティスクール）の取組を推進し、学校運営の改善を図るとともに、地域学校協働活動との一体的な推進により、児童生徒の多様な体験や学習機会等を提供するなど、引き続き、「地域と共にある学校」づくりに取り組んでまいります。

また、児童生徒を犯罪や事故から守り、登下校等の安全を確保するため、「千歳っ子見守り隊」

の取組を推進するとともに、児童生徒の緊急避難場所となる「子ども110番の家」の取組を継続するなど、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

「学校段階等間の連携・交流」については、幼稚園等から小学校への円滑な接続を図るため、子どもの成長に関する情報交換や交流の機会を設けるなど、引き続き、連携を図るとともに、小中学校においては、「千歳市小中連携・一貫教育実施要領」のもと、義務教育9年間を見通した教育活動や円滑な接続を進めてまいります。

第4は、『市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進』であります。

「多様な主体の連携による学び合いと交流の場」については、「千歳学出前講座」や「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の登録講座の拡充を図るほか、生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」などを開催し、市民活動団体の交流の場の提供に努めます。

「市民活動交流センター」については、オンライン会議や研修会などを積極的に開催することができるよう、新たに「ミナクール」にWi-Fi環境を整備し、市民活動の活性化に向けた機能充実に努めます。

「学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用」については、リーダー養成事業の受講者で構成される「ちとせを元気に応援隊」が中心となり、新たに市民交流事業を展開するなど、事業実施を通じた「まちづくりの担い手」育成に取り組めます。

「地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動」については、地域学校協働活動の取組を推進するため、新たにモデル校を選定し、学校に協働活動コーディネーターを配置することにより、地域と学校の連携を深め、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長を支える環境づくりに努めます。

「学んだ成果を地域で生かす活動」については、市民が「千歳学出前講座」の講師や「地域学校協働活動」などのボランティアとして活躍する場を設け、市民の知識等を生かした教育活動の充実に努めます。

第5は、『各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実』であります。

「乳幼児期からの家庭教育を支える学び」については、これまで対面で実施していた「ママさん教室」に、新たにオンラインの手法を取り入れ、より参加しやすい形式により実施するほか、「家庭教育セミナー」を開催するなど、家庭の教育力を高めるための支援を行ってまいります。

「青少年の自立と成長を育む学び」については、公益財団法人千歳青少年教育財団との連携により、自然体験教室や宿泊学習など各種教育事業を実施するほか、指宿市との青少年相互交流事業を実施してまいります。

「成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学び」の充実については、「市民教養セミナー」を開催するほか、高齢者の学習機会として、「千歳高星大学」や「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を実施してまいります。

「読書環境の充実」については、市立図書館の図書資料の充実に努めるほか、引き続き、イン

ターネットなどを活用した図書の貸し出し予約などの取組や、おはなし会・図書館まつりなどのイベントの開催、ブックスタートの取組などを実施してまいります。

第6は、『まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承』であります。

「文化芸術に親しむ環境の整備」については、北ガス文化ホールにおける音楽・演劇などの公演や、市民ギャラリーにおける作品展など、引き続き、市民ニーズを反映した魅力ある事業を実施します。

また、北ガス文化ホールでは、空調自動制御機器の更新などを行うとともに、市立図書館では、1階和式トイレの洋式化改修工事を実施いたします。

「文化財の保存と調査・研究及び継承」については、国指定史跡「キウス周堤墓群」や「ウサクマイ遺跡群」、市指定史跡「美々貝塚」をはじめとする遺跡の保護に努めるとともに、引き続き、市指定無形民俗文化財である「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」や「泉郷獅子舞」の保存・伝承活動を支援してまいります。

「文化財の活用」については、より多くの市民が文化財に対する関心を高めることができるよう、「体験学習会」など、文化財に触れる機会の充実に努めてまいります。

「世界文化遺産登録と資産保護の取組」については、昨年7月に、国指定史跡「キウス周堤墓群」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたところであり、引き続き、その価値や魅力の発信に取り組むとともに、ガイダンス施設や園路などの整備に向け、「史跡キウス周堤墓群整備基本計画」に基づき、地質調査及び測量調査のほか、基本設計に着手してまいります。

むすび

以上、令和4年度の教育行政執行にあたっての方針と重点施策及び主な施策について申し上げます。

今後も、未来を担う子どもたちが生き生きと学び、市民一人一人が生涯にわたって学習し、その成果を地域で生かすことができるよう、学校や家庭、地域、関係機関・団体などと連携を図り、様々な教育課題を的確にとらえながらスピード感を持って精力的に取り組み、市民の期待と信頼に応えられる教育行政を推進してまいります。

市民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和5年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

千歳市教育委員会

千歳市東雲町2丁目34番地

電話0123-24-3131（代表）